京城日報

(年中無休刊)

京城太平通一丁目 發行所 合資會社京城日報社 編輯兼發行人 奧田直毅 印刷人 小川三之助

十月十一日夕刊 (翌夕刊併せて八頁)

講和條約原案通 可決に決定＝廿九日樞府本會議

講和條約は過般來樞密院特別委員會にて審議中のところ大體原案通り可決するに決し遲くも本月中に本會議を開き正式決定を見る筈なるが其日取は多分二十九日なる可く當日は山縣議長も上京出席議事を司る可しと(東京特電)

日本批准豫想 ＝十月十五日か＝

講和會議關係筋にては日本は十月十五日を以てベルサイユ講和條約に批准すべしと豫想せられ居れり是れを以て日本の講和條約批准は第四番目の見込なり(巴里電報)

ゴ將軍 反過激派に投ず

コペンハーゲン來電＝露都よりの報道に依ればゴルツ將軍は獨逸と共に露國反過激派に投じたるが獨逸は同將軍の行動と全然沒交渉の旨聲明したりとされど獨逸政府が右の報道を確認するや否やに關し伯林來電は何等の消息をも傳へ居らず(シドニー電報)

過激派橋梁燒却

陸軍省發表＝十月六日朝百名の過激派はブリシエベーラヤ地方にて橋梁四箇を燒き拂ひ電線を切斷せり(東京特電)

南方揑造說を信ず 跡形も無き日支密約說

日支軍事協定に附隨して一種の密約日支兩國政府に締結せられたりとの說政界の一部に唱へられつゝあり勿論右は一部野心家が爲めにする所ありての揑造說に過ぎざるが南方に於ては之を信じ居るもの尠からず唐紹儀氏の如き亦其の一人なり而も王揖唐氏さへ該說の眞僞に關して疑惑を抱き居るもの〻如しされば中央政府は徐樹錚氏を通じて辯白せるも南方側は該密約が發表せられざる以上は北方の辯明は何等意義なしと唱へつゝあり(北京電報)

張氏の眞意聽取か 吳中將張督軍訪問

張督軍來訪の噂ありたる吳光新中將は八日午後七時半著列車にて奉天著九日張氏と會見其夜歡迎宴に臨み十日午前十時四十分歸京の途に就きたり來訪の用件は審かならざるも今や南北和議問題漸く展開を見んとし北方の意氣漸く緊張し來らんとする時に當り張氏の態度甚だ鮮明を缺ぐものあり之れに對し吳光新氏を派し以て其眞意を聽取せしめ且つ慰撫激勵するところありたるものと推察さる又某方面より聞く處に據れば張氏は徐總統は張氏の決心を促すの要あり特に今や東三省を統一したるも尙之を以て足れりとせず長江方面に或る種の希望を有せる由なれば吳氏との會見に當りて或は該方面に對する諒解をも得たるならんかと觀測さる(奉天特電)

上海 値上運動開始

當地の勞働問題漸く具體化し來り滬寧鐵道坑夫の罷業に次ぎ租界の道路工夫も賃金値上運動を開始し各工場も寄り〱運動開始の準備中なり(上海電報)

張督軍祝賀會

十日は中華民國國慶日に相當するを以て張氏は午前十時半より日支官民の主なるものを招待し祝賀會を公署內に開きたるが極めて盛會なりき(奉天特電)

物價調節と法令 其の主要點＝目下諮問中

政府は刻下の重大問題たる物價調節並に食糧問題の根本的調節を計る爲め一法令を制定すべく目下內務省保健調查會及び經濟調查會に諮問中なるが該法制定に就き主要點として論議せらる所るもの左の如し(東京特電)

一、物價調節と共に保健的食糧品を國民一般に供給する目的を以て公設市場の普及を圖り法律に依り市場法を制定すること

一、私設並に公設市場法の制定と該法に依り設けたる市場に對し政府は相當の補助金を交附すること

一、政府は物價調節の目的を貫徹する爲め必要に依り既設市場の買收を行ふこと

中產階級生活難緩和と社會政策的施設

十日の定例閣議に於て物價調節問題に就き意見の交換あり此の際至急大藏農商務兩省より具體案を提出すべく打合せ又是れと關聯して中產階級の生活難を緩和する爲め此の際急速に而も徹底的に社會政策的施設を講ぜざるべからずとの意見に一致し是れが實行方法に就き協議したり(東京電報)

官吏增俸決定 明年度より實施

一時延期の噂行なりし官吏の增俸問題は近來大藏省に火の手擧り增俸運動は燎原の火の勢ひを以て各方面に蔓延し事態重大ならんとする勢ひなるを以て遂に模樣替となり愈々明年度より實施のことに決定したるが其の要項左の如し(東京電報)

一、判任官以下臨時手當五割を本給に編入し更に五割內外の臨時手當を支給すること

一、高等官は現在の臨時手當五割を以て本給に改め更に三四割の臨時手當を支給すること

一、恩給年金は現在の儘五割增すること

滿鐵鮮鐵運賃 引上許可

滿鐵、鮮鐵の運賃引上は愈々許可され十一月十五日より實施さるべし(東京特電)

滿鐵移轉請願

奉天在住邦人有志多數は九日夜會合滿鐵本社の奉天移轉を當局に請願す可き打合せをなし近く市民大會を開く筈尙右有志等は官營取引所を設置すべく不日請願す可しと(奉天特電)

近藤社長歸期

講和特使と共に講和會議に參列せる日本郵船會社長近藤廉平男一行は二十九日橫濱著歸朝の段定なり(東京電報)

日銀帳尻

九日日本銀行の帳尻左の如し(東京電報)

發行高	一〇七七、七一四千圓
正貨準備	七九七、八七五
限外發行	一五九、八三九
貸出高	三六〇、八四〇

總督知事招待

齋藤總督は十三日午後六時總督官邸に知事會議列席の爲め滯城中の各道知事を招待し晚餐會を催すべし

總監邸晚餐會

水野政務總監は防疫委員長として十一日午後六時三十分大和町官邸に於て晚餐會を催し防疫委員二十餘名を招待したり

豫算出來 林課長携帶東上

來年度の總督府豫算は政府提出の形式に作製出來せしを以て總督府司計課長林茂樹氏は之を携へ十三日朝出發東上すべし尙河內山財務局長は東上の日時未定なるも道知事會議終了を俟ち直ちに出發の筈なり

道知事會議日程

既報の如く道知事會議は十三日より十五日迄三日間每日午前十時より總督府第二會議室に於て左記日程に依り水野政務總監統裁の下に開催せらるゝ事に決定せり

▲十三日▲ 總督並に政務總監訓示地方狀況陳述

▲十四日▲ 地方狀況陳述、協議事項打合、道知事意見說明

▲十五日▲ 道知事意見說明、指示及注意

尙指示及注意は主務局部長これに當るべしと

辭令

今回左の通り辭令ありたり

總督府中央試驗所技師兼京城工業專門學校教諭總督府技師 海福紀一 任陶磁器試驗所技師(六等)

總督府道事務官 坂路英和 黃海道第一部勸業課長兼同審查課長を命す

總督府道警視 森脇英士 黃海道第三部高等課長兼同衞生課長を命す

總督府郡守 林慶燮 全羅北道淳昌郡在勤を命す

同 李東漢 同鎭安郡在勤を命す

同 徐丙周 同沃溝郡在勤を命す

同 趙漢翁 同扶安郡在勤を命す

同 尹疇炳 同長水郡在勤を命す

同 李承漢 同任實郡在勤を命す

同 金甚浩 同南原郡在勤を命す

燃料調節急務(二) 齋藤音作(寄)

七、旱害水災による農產物の減收に伴ひ藁其他農產燃料も寡少なるべしと思はるゝこと

八、糯叺等の生產增加堆肥製造の增加家畜の增加等により藁又は野草等の燃料以外に供用さるゝ分量例年よりも多かるべしと思はるゝこと

九、開懇事業造林事業等進捗の爲め從來の燃料採取區域を益々狹めたる事實あること

以上は思ひ浮びし數項を擧げたるに過ぎざるが兎も角も今冬に於ける溫突燃料の供給難は豫想し想像以上と思はれる、食は三四日我慢し得るも溫突は一夜たりとも缺かすに濟まされぬとは多數鮮人の實際の狀況である、假りに三百萬戶が十一月より四月に至る六箇月の間に費消する溫突燃料は實に莫大なものである、假に一戶平均千五百貫を要するとせば總計四十五億萬貫の燃料を要し、假に其三割を不足するとせば無慮十三億五千萬貫の不足となる、若し此儘自然の成行に放任せんか其影響の及ぶ所寔に寒心に堪へざるものあらん即ち

第一、國有林野受貸付林野私有林野及緣故林野に對し大々的の盜伐濫採が强行され其結果は保護者所有者占有者等と多數貧困者との間に忌まはしき大鬪爭を惹起すべし

第二、恐るべき過度切枝の弊習は益々時を得顏に各地方に盛行さるべし

第三、目前の小利に迷ふ林野所有者等は價格の暴騰に眩惑し盛んに幼樹林の濫伐を敢行するべし

第四、以上の如く濫盜伐濫採が盛行さるゝも尙且多數者は燃料の大缺乏と大暴騰とに脅威さるべし

度に恐るべきは今冬に於ける溫突燃料の需給關係である、加ふるに第一より第三に至る濫伐濫採の結果を考ふるに併合以來苦心經營せる治山の大事業が其根抵より顚覆され破壞さるるのである、果して此處に至れば慘憺たる旱害水災は一層其猛威を逞ふして食糧調節を難からしむるのみならず、林野荒廢の結果は益々林產の收穫を著減し將來に於ける燃料調節を根本から枯らし永らく救治の望を斷たしむるに至るべきは必然である溫突燃料調節の問題は決して輕々看過し居るべきものでない、即ち社會問題としても治山問題としても尙に捨て置き難い焦眉の大問題である、今や嚴冬の襲來は一二月を俟たぬ調節策の絕好の時期は旬日の間に迫つて居る、官民有志苟くも良策善案あるものは此際互に意見を披瀝し互に研究を進め採長補短速かに實地に適合せる具體的調節策を確立し一日も早く此の至難にして寒心に堪ねざる大問題の解決を遂げたいものである(完)

全鮮會社類別 幷に資本金

大正七年末に於ける朝鮮に本店を有する會社の業態別(各種業務を營むものは主なる業務に編入す)會社數公稱及び拂込資本金等を總括すれば左の如し

業態別	會社數	公稱資本金(圓)	拂込資本金(圓)
農業	三	七、〇五九、〇〇〇	四、四六九、六一〇
林業	四	三四〇、〇〇〇	二一〇、〇〇〇
工業	六八	二六、二一〇、六〇〇	九、〇五五、一三〇
商業	八六	一〇、八九九、一〇〇	五、六三六、〇一五
水產業	一	一〇、〇〇〇	五、〇〇〇
鑛業	三	二、四〇〇、〇〇〇	二、一五〇、〇〇〇
金融及銀行業	三五	六〇、三六八、五〇〇	三五、七七五、四四〇
運輸業	三三	一三、二〇五、五〇〇	一〇、八六八、一二五
瓦斯及電氣業	一四	二、四九九、〇〇〇	一、三九八、五〇〇
其の他	八	三五五、〇一〇	二七九、一六二
計	二六六	一二五、六二三、七〇〇	六九、八六九、五九五

即ち合計二百六十六社其の公稱資本金一億二千五百六十二萬餘圓拂込金六千九百八十六萬餘圓にして同年中に於て各地方の農工銀行を殖產銀行に併合し之が爲め六社の解散を爲したるを主とし其の他小會社の解散するあり同年末に於て內地に本店を有し朝鮮に支店を有する會社の數は四十九社にして外國に本店を有するもの六社なり今其の業態別及其の資本金を擧ぐれば左の如し

業態別	會社數	公稱資本金(圓)	拂込資本金(圓)
農業	九	六、五五五、〇〇〇	四、〇二一、九六六
林業	一	五四、〇〇〇	三五、〇〇〇
工業	六	三七、九〇〇、〇〇〇	三一、〇一〇、〇〇〇
商業	三	二六、三一七、五〇〇	二〇、五九八、〇〇〇
水產物	六	八、一三〇、〇〇〇	六、三二〇、〇〇〇
鑛業	五	一三、八〇〇、〇〇〇	一〇、二九〇、〇〇〇
拓殖業	一	五〇、〇〇〇、〇〇〇	三三、五〇〇、〇〇〇
金融及銀行業	三	三九、〇〇〇、〇〇〇	三一、八〇〇、〇〇〇
運輸業	二	五五、〇〇〇、〇〇〇	三九、五三三、五〇〇
瓦斯及電氣業	三	一、三〇〇、〇〇〇	八〇〇、〇〇〇
合計	四九	三〇八、七四三、五〇〇	二三六、七七四、四八〇
外國に本店を有するもの			
商業	四	二、四〇〇、〇〇〇	二、四〇〇、〇〇〇
鑛業	二	一、一〇〇、〇〇〇	一、一〇〇、〇〇〇

即ち合計五十五社にして其の公稱資本金三億二千二百九十三萬餘圓拂込資本金二億四千二百七十萬餘圓にして前年に比すれば社數一を增し公稱資本金に於て[illegible]萬餘圓拂込資本金に於て[illegible]萬圓の增加を示せり之を要するに是れ各會社が實際朝鮮に投資せる資本は審かならず

西鮮殖鐵許可 黃海道の開拓＝事業內容

兼て東拓理事子爵松平直平氏を發起人總代とし東拓三菱賀田氏系統の實業家により出願中なりし資本金一千萬圓の西鮮殖產鐵道株式會社は十日附總督府より許可されたるが同社は本社を京城に置き事業の進展に伴ひ必要の地に支店出張所を置くこと、なるべく十一月中旬會社創立の上は第一著に三菱經營の銀山面鐵道を買收し更に之れに聯絡せる輕便鐵道を敷設し運輸業を營む外沿道その他の富源開發に必要なる拓殖事業並びに之に附隨する一切の事業を經營するを以て目的とし其細目は左の如し

運輸業にその附帶事業、倉庫業、鐵道に物資の委託販賣生產物の加工幷に賣買、拓殖上必要なる物資及び建物の貸借賣買、土地の經營、鑛業

會社の特權

に更に同社は他社の企及し得ざる多くの特點を有し設立當初より一部の營業を開始し相當の收益を擧ぐべく同社の特權は概ね左の如し

い ○輕鐵事業に對しては投資金額の八朱に達する迄配當補給の政府保證あること

ろ ○數千町步の有望なる國有未墾地及都市經營上重要の地點なる山野等を安價に拂下げ得る見込あり而して朝鮮に於ける開墾事業に對しても將來內地同樣年八朱の政府補給に均霑することゝなるべし

は ○沿道の政府及三菱其他個人經營に係る鐵山の採鑛運搬を受くるの見込あること

に ○載寧浦對岸北倉浦に於ける島嶼點に臨港都市を設くるに於て從來平壤又は鎭南浦に移出し此等地方に於て加工若くは取引せられたる農鑛原料は將來輕鐵の便に依て大部分北倉島に集り處理せらる可きを以て背後の半島部資源開發に大なる利益を與ふると共に都市經營の有望なる點

ほ ○石炭供給の必要上木鐵道に近き國有炭鑛の一部讓受を受くるの見込あること

へ ○三菱及東拓會社とは特種關係を有し永久に經營上援補の援助を受くるの便あること

と ○三菱既設鐵道を買收するを以て會社成立と同時に營業開始の利益あること

ち ○本會社は鐵道經營の外に沿道利源開發の爲め拓殖產業をも經營するを以て地方の發達をなして一層運營すると共に會社營業上に多大の利便を有す

起業方針順序

輕鐵事業は之を二期に分かち第一期は左記第一區間を完成せしめ第二期に於て第二區第三區及び第四區を同時に完成せしむる豫定なりと

第一區線 沙里院より載寧、信川、安岳を經て北倉浦對岸に至る線五一哩

第二區線 信川より竹川、梁野を經て瓮津に至り更に龍塘浦に至る線四七哩三〇鎖

第三區線 梨木より公稅里を經て長淵に至る線一八哩五〇鎖

第四區線 既設三菱銀山面鐵道石灘驛より分岐し新院を經て海州に至る線三二哩七二鎖

株式公募期

西鮮殖產鐵道會社にては來る十八日より二十二日まで總株數二十萬株の中二萬株を割いて東京大阪京城各地にて株式の公募をなすべくその第一回の拂込期は十一月初旬一株に付十五圓の豫定なりと

朝郵重役會 重要問題附議

朝鮮郵船會社にては十二日大阪に於て重役會議を開き原田會長松崎專務上谷取締役山口監查役同大正八年上半期の決算並びに配當並に增資の時期未拂込金徵收の決行期新造船計畫等を附議したるが株主總會は來る二十八日本社に於て開會する事となるべく配當は前期同樣一割にて十二日の重役會にて協議せる諸案を附議する事となるらん

商議聯合會 全鮮商業

會議所聯合會は引續き十一日午前十一時より開會の筈なりしも委員は同日午前十時總督府に到り會社令撤廢斷行の件商業會議所關係法規改正の件等に關し係當局に陳情せる爲め午前中開會の運びに至らず午後一時より開會せり

滿洲側出席者

十三日より京城に開會さるべき鮮滿商業會議所聯合會への滿洲側出席者氏名左の如し

大連佐藤至誠 [illegible] ▲營口木下乾吉 ▲奉天小西春雄 飯島節夫 ▲安東[illegible] 西浦平助

金融書記講習會 京畿

道內金融組合書記講習會は來る二十三日より三日間道廳會議室に於て開會することに決定せり

朝日釀造創立 資本總

百五十萬圓を以て計畫されし朝日釀造株式會社の創立總會は十二日午後二時より京城ホテルに開催する由

軍司令官の寄贈

宇都宮軍司令官は目下滯京中の鮮滿各部隊將校に對し遠路の勞を慰むる爲め迎賓館を開催せんとしたるも案內を受けたる將校中には用務多忙の爲め辭退し來りしを以て其の代りとして仁川に派し葡萄酒菓子其他を將校一同に寄贈せり

新舊吏懇親會 總督府

及び所屬官署新舊等官六十餘名は十一日午後六時より花月に於て懇親會を開き相互の融和を計りたり

佛國大使退城

滯城中なりし本邦駐箚佛國大使バプスト氏及び一行は豫定の如く十一日午前十時南大門驛發列車にて東上の途に就きたるが驛には松永外事課長、京城駐在佛國副領事ガロアー氏夫妻、ミューテル師其他の見送りありたり

京城取引所出願說に就て 牧山耕藏氏談

新聞紙上に自分が京城取引所設立の發起人として出願したりとの說が傳はつて居る樣であるが自分は九月の夜內地より歸城せしに、同夜或實業家の訪問を受けて右出願書を提示され捺印を求められしも、色々の事情上來衝者に對し例令出願するもそれは總督府にては恐らく許可せざる可し、何となれば總督府にては之を許可せんとするも準據す可き法規なく尤も現行の會社令に依り許可不能といふ所以ではない。けれども這は便宜上の手段に過ぎざれば目下の狀態に於ては許可せざる方針なるが如く解せらる。愈々許可することとすれば新に取引所令を制定する必要がある。然るに朝鮮經濟界等に於ける取引所令の制定施行は中央政府に於ても此迄有力なる反對論が多く現に議會に於ても取引所令を新領土に於て施行するは幾多の弊害ありとの理由の下に折角本府總督府に於て成案と迄成りたる取引所令も中央政府に於て審議を進めず、結局拓殖委員會に附議して否決する運命となつた先例もある。現在の仁川取引所は統監府時代理事廳より許可されたるもので

既得權を尊重

するといふ意味より特別の詮議を以て存續し來り居るものである。總督府にては今宮小原長官が仁川取引所失態事件善後策に付き事案を提げて東上中央政府と交渉する處があつたが當時自分は在京中であつたから朝鮮關係の我々代議士に對し中央政府より意見を徵せられたから自分は仁川取引所の改善存續の意見を述べ其の實現に付き盡瘁した樣な事である。當朝鮮の取引所制度に就ては總督府當局に於ても多年の懸案として目下研究審議中に屬する由なるが愈々成案を得て中央政府に回付され拓殖局及び法制局の審議を遂げ閣議の決定を見て發布さる、迄は多大の日子を要すべし。兎に角本問題の

前途は暗澹

として見當が付かないと云ふの外ない。如上の事情なれば此際徒らに出願書を提出して無用の手數を煩はすよりも寧ろ時機を待つを得策とするの意味を述べ連名調印を拒絕した次第であれば、自分が發起人說は此邊の處から誤傳されたのかと思ふ云々

○取消 拜啓貴社第四千三百廿二號十月十日夕刊京城取引所問題に關し牧山耕藏律田鍛雄李完用伯諸氏の御名前有之候處右は知斯名士の御發起を希望する旨の希望者有之しのみにて未だ其方々の發起承諾を得居らざるものも有之自然何にかの御迷惑を掛けては成り不申候間發起者の御名前の處は御取消し置き願度御依頼申上候 大正八年十月十日 京城府南山町貳丁目廿七番地書類作成者井上市郎 京城日報社御中

人事消息

▲村田信乃少將 北鮮地方視察中の處九日歸城

財界閑話

仁川三井物產の[illegible]は一稿田のヤリ手で[illegible]にかけては仁川の間[illegible]ぬく程の手腕があり[illegible]の時代に入つてメキ〱賢つて居るらしい▲唯ヤリ手だけに口も八丁手も八丁さありての評判もすれば四邊構はず猛烈な閃めきを見することで一部からは惡口の標的とされ一部からは切りにもち上げられてゐる▲君も此邊を大に反省し出したらしいが兎に角年が若いのと水戶人の血性を有してゐるので中々滿洲士に納まれわかに見ゆる然し憎氣のない好漢である▲今年の秋日和は無類の上乘で十日などは殆んど夏の暑さを見た更に引續き天候はよいやうだ▲旱魃の氷結は結局枯死せざる稻苗の生育遲延と云ふ事になつてゐる秀上乘の秋日和の打續くのは生育の遲れた稻を捨うする▲陰陽によると今年は七月が重なり七月の重なつた年は暖かいとも云ふ兎に角稻作を遲らして悲觀された米收を幾何でも多くしたいものである

人事

▲宮崎路氏(陸軍步兵少佐) 朝鮮點呼狀況視察中の處十日夜歸城

▲谷居文四郎氏 一等主計に陞進し師團司令部附より東京被服本廠に轉勤

▲堀江長藏氏 今回步兵大尉に進級步兵第七十八聯隊附に補せらる

▲古木朝鮮總督府醫院醫學士 市內[illegible]月二十一日歸宅

▲尾崎元次郎氏(代議士) 十一日釜山上陸十一時鮮滿直通列車にて北行(釜山特電)

▲宮田儀作氏(實業家) 十日夜釜山上陸十一日午前十時急行にて北行(釜山特電)

▲片山滿鐵理事 ▲川上滿鐵理事 十一日退城

▲笠井國三氏(小野田セメント專務取締役) 同上

▲元應常氏(江原道知事) 十一日入城天眞樓へ

▲エヌ・エフ、サラシエフスキー氏(セミヨノフ軍將校) 十一日朝釜山上陸十一時鮮滿直通列車にて北行(釜山特電)

其の日その日

◇さしもに大なりし英國罷業も偉大なる英國民の自覺に依り、手際好く解決せられたるものゝ如し。然るに米國の產業界は、依然として過激主義派たるインダストリアル、ワールツ、ワーカス即ち世界產業勞働組合、アイ、ダブルユー、ダブルユーと略稱する一派の橫暴は未だ決して米國產業界の安全を期する能はざる也。彼等は勞働聯合組合よりは、寧ろ世界產業勞働者に非ずして、アイ、ソント、ワーク、即ち『俺は勞働を欲せぬ』者なり、其略稱に於ても同じきに非ずや、懶惰者の寄合なりなど、非難紛々たるに對して、彼等も決して敢ず、漸次其本性を現はし來り、吾等はアイ、ウオント、ウオア也、即ち吾等の略稱は『俺は戰爭を欲す』と云ふにありと叫び出せり。彼等の欲する戰爭は、クラス、ヴォアにして、階級戰爭ならは勿論。彼等が其猛烈を押して、更に米國產業界に活躍せば、豈に蕭々たるべきものあらむ。

◇講和條約の、漸く批准せられんとするに際し、前獨帝審判の賛否は、未だ相半して不人氣千萬也。現狀人心の推移を知らざる列國の老政治家が、曖昧時代的處罰を呼ぶに足らざるは淺ましき。其間前獨帝が奈翁の二の舞を演ぜんとすれば幸也、山氣多き彼としては、之れ位の事は朝飯前の事、御用心然るべし。

◇物價暴騰に對し、面白き一例を示せんに、米國オハヨー州チエシャイア村は、人家僅に五百戶餘、最近にガソリン油の騰貴するや、村人は團結して自動車使用を全然禁止する事三週間、遂にガソリンの下落をなさしめ更に靴の暴騰するや、四箇月間村人は絕對に靴を使用せず、之れ亦遂に靴を暴落せしめしと云ふ。面白き物價暴騰對抗策に非ずや、市民此の筆法を以て進めば、物價暴騰も敢て恐るに足らざる也。

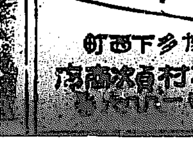
最新パン製造法 田邊玄平先生著 田尻稻次郎博士序
パン製造の大家田邊先生が、食パン、菓子パン、蒸パン等の製造法を說述したるもの、一般家庭の人々へ
定價金八拾錢

鷄卵のお料理 榎本小太郎 松本久子 安西古壽 三先生合著
定價金七拾錢

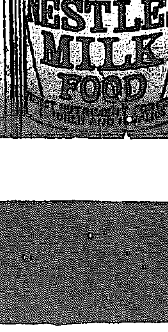
豆腐のお料理 榎本小太郎 松本久三郎 貴志文四郎 三先生合著
東京本郷元町 株式會社東京割烹講習會
定價金七拾錢

優等清酒

福岡縣三井郡山川村 釀造元 富安本店
京城永樂町一丁目 發賣元 富安京城支店 電話長一〇三二 振替口座一四三九

御注意 發賣元 特約店御希望の方ハ御申越被下度候


博多下西町 木村貞次商店

ネスルミルクフード
卓越セル効果ハ既ニ日本ニ於テモ充分認メラレ、ソノ需要ハ益々增加シツヽアリ
左記申込書御切抜の上御住所御姓名御記入金十錢郵券御封入の上御申越し被成下候はゞ見本包一個御送付申上候
茲許郵便切手金十錢封入候間ネツスル印ミルクフード見本包御送付相成度候
住所 氏名 年月日
橫濱郵便局私書函第三〇四號 ネツスル及アングロスヰス煉乳會社行


朝鮮石綿礦業所
營業品項目
一、アスベスト板其他
一、アスベスト綿石綿加工品
群山港錦町十二番地
礦山 所在 忠淸北道

國境横斷旅行(三)

鍾城から惡山鎮へ

一日千秋の思で 兩江拓林鐵道の速成を待つ茂山

雨が續けば交通が杜絶し 米が食へなくなつて了ふ

茂山にて 特派員 伊藤韓堂

茂山郡は米の穫れない所だ、梁又は永興方面で若干の水田を見たが甚だ貧弱のやうであつた。米の穫れない土地で米飯を食はふとすれば勢ひ他地方から

米穀の供給を 仰がねばならぬ。

目下茂山は清津方面から移入しつゝあるが、それも古茂山を經る道路がタッタ一つあるだけで而も運輸機關は牛車と馬背に限られてゐるから、雨が續くと交通が杜絶し、道路が少し破損すると食用米の供給が杜絶する。甚だ以て心細い次第と云ふべしだ記者は奥地に入る必要上若干の米を用意したいと米屋雜貨屋を軒別訪問したけれども何處の家でも賣つて呉れぬ。在る米を何故賣らぬかと詰問すれば

道が壞れてる から修繕の出來る

まで米は賣られぬとの返事であつた。已むことを得ず旅館で少々分けて貰つたが斯くの如き狀態では茂山の發展は期せられぬ一朝、茂山に米が絶れると三下面、農事洞、楡坪、延岩等内地人の居住して居る地方では其の波動を受けて兵糧攻めに遭はねばならぬ所から、奥地では三十里乃至四十里も距たつた清津や鏡南方面に人と駄馬とを遣はし

仁川釜山から 米を小包で買入れ

て居る。随つて何時も六七割方高いものを常用して居る。以上は單に米に對する一例だが總ての諸雜貨も其通りである。茂山古茂山間交通機關の不備はあらゆる方面に打撃を與へて居る。『斯んな物價の高い處には居れませぬ』とは茂山及び其奥地の人の等しく歎ずる所の言葉である。之れは何うしても鐵道の開通により土地の發展と運賃の低下に依らねばならぬ。之を以て

兩江拓林鐵道 に對する此の地方

人士の期待は大したもので、聞くも氣の毒な位だ。記者が茂山に入るや二三の人士は態々來訪し同鐵道の許可後の狀況、敷設の具合等を質しに來る人がある。地方人士の云ふ所は鐵道は古茂山より虚彦洞を經て直ちに楡坪方面に向ひ、茂山は除外さるべしと噂る、に在るもの、如く記者にても其の詳細なる内容を解せざれごたゞ

總督府の許可

は古茂山を起點とし茂山、楡坪、吉城、延岩を經て終點を吉州郡合水とする百二十哩の線路と吉州を起點とする惡山線八十五哩の線路は合水に於いて相連絡することなり居れば必ず茂山を通過するなるべく、又惡山鎮より虚頂嶺を越ゆる事洞に出で茂山に出づる線も出願中なれば許可後は着手されるであらう。古茂山より茂山を經由する五十哩と山内作業用軌條の敷設二千哩は第一期計畫に屬し居るを以て近く岡本文介氏引率の下に測量班茂山に入るべき由御知したりと諾めて

慰むるのみで

あつた白頭山脈一大森林の伐採事業は同社發起の大眼目なれば一茂山の盛衰を顧慮すべき筈なけれども同地人士が同鐵道會社に操り、將に開發されむとするに至りたる奥地と、茂山とを相結ばんと希望するは無理からぬことである。

大谷光瑞師 十日神戸入港

香港より郵船横濱丸に便乗せる大谷光瑞師は十日未明神戸に入港したるが同師は途中上海に上陸したる爲め二日間船内に止ることゝなれり同船には添田壽一氏、尾崎行輝氏等あり(大阪電報)

政友會本部は 燒け跡に バラック建

政友會本部は永久的建築物竣工には相當の日子を要するを以て取敢ず燒け跡にバラックを建て本議會の間に合せ本建築は別に是れを設くることゝ決定せり尚ほバラックの竣工迄は三縁亭を假事務所として政務調査事務を行ふ筈なり(東京電報)

實戰を凌駕せん

紀州南方洋上の壯觀 御親裁の海軍大演習は 愈十一日拂曉より開始

天皇陛下御親裁の紀州南方の洋上にかけて行はるべき海軍大演習は十一日拂曉より開始せらるべきを以て横須賀鎮守府に於ては同日未明海軍省より演習開始の命令一下直ちに港内信號所吾妻山に於て二十秒時間の間隔にて大砲三發を發射し同時に吾妻山信號所、鎮守府裏の機山、港内波兒、深田海軍病院山の四箇所に赤旗を樹立し演習開始の注意を一般市民に與へ又同時に衛兵所の信號兵をして非常喇叭を吹奏して市中を練り歩かしめ在泊將校下士卒の呼集を爲し各將卒は何れも武裝して各職務に就き又高所には飛行機射撃用の大砲を設備し夜間は鎮守府及び工廠其他軍艦等は港内にありては電燈全部を黒布にて蔽ひ光線の洩漏を防ぎ飛行機の襲來を防止し追濱航空隊にては此の程佛國より新に購入せる新飛行機三臺を以て敵飛行機の襲來に備へ又特務艦高崎丸には九日夜窃に飛行機數臺を搭載して其根據地に廻航せり(横濱電報)

佛大使歡迎宴(十日夜總督官邸にて) 向つて左より齋藤總督、バプスト大使、ミューテル主教、水野總監、松永外事課長

勤儉の美風を奈何にせん 憂ふ可き勞働問題

多く入れば餘計に費ふ 滿鐵は日給一圓の者は千二百圓出すと 片山滿鐵理事は語る

自分が内地に出張した日數は僅か二週間であつたが此の間には種々の教訓を得た又歸途には八幡製鐵所も見學したが、新聞が報道する如く同所の職工は餘り動搖してゐなかつた白仁長官の二度目の上京も豫定の行動で

職工の 動搖の爲 めではない兎

角内地新聞がストライキだとかサボタージュだとかを誇張して書く傾向があるのは面白半分に騒ぎ出すと云つた風で誠に寒心に堪へない併し東京に於ける各社の休刊事件は一寸大分

筆鋒穩健

になつたやうに思はれる穩健と云へば内地の職工よりも朝鮮及び滿洲の職工は生活の脅威が酷いのと一歩海外に踏み出してゐると云ふ決心が違ふから内地の如く危險分子は尠いやうである鐵道從事員は

不眠不休

か天職であるかと是れが騒ぎ出して怠業なぞやつた日には堪つたものでない獨病院でも大に是に留意し優遇法を講じてゐる併し政府が物價の調節を講じて呉れなければ困る折角給料を上げても直其の後から

物價を上

げるやうでは何んにもならない又生活難に迫はれてゐる職工もあるが贅澤して給料が不足だと訴へる職工が可なりある芝居とか活動寫眞とか或は飲食店とかの客は昨今では主として職工の家族が中心になつてゐる是は

大連の話

であるが數年瓦斯や電氣の職工や事務員は曙勤務や居殘り勤務を進んで申し出で其の手當を以て生活費の補充にしてゐたものだが給料が上つて以來は其歴勤務を厭ひ必ず家族同伴芝居や活動寫眞見物に出掛け勝りには

料理屋と か飲食店に入

つて贅るものが多い生活が豐になれば惰るのが彼等の常であるが内地到る處勤勉の美風は地を拂つて去りつゝある誠に憂ふべき事である滿鐵でも内地の状況に鑑み近く增給する事に決定したが是と同時に

勤儉貯蓄 の美風をも鼓

吹したいと思つてゐる序だから申上げるが滿鐵では日給一圓の傭人を雇入れると石炭の補給とか白米の購買とか種々雜多の經費が日給以外一年を通じて一人に付千二百圓を要する事となつてゐる夫丈け優遇してあつて猶且不平があるやうでは堪まつたものではない上を見ては切りの無いものである

對決の日の 爆彈犯人と證人

此のナツプンサラミが!!と犯人が云ふ アヤツに相違はありませんと證人が云ふ

眞物?僞物?

中央、爆彈犯人姜宇奎 向つて右證人大野次郎氏、左同鶴見愛二郎氏

爆彈犯人姜宇奎は十一日午前京城地方法院檢事局に於いて取調べられた、今日は兇行當日親しく兇行を目撃した南大門驛赤帽大野次郎及國分法務局長が方鶴見愛二郎氏も證人として喚問されてゐるので、姜が眞犯人か否か決定される日である。姜は拘置監から護送馬車で法院檢事局に送られ留置場に待たされて居たが先づ大野次郎氏は檢事廷に呼ばれ檢事の係りのもとに當日の狀況に就いて取調べられて居たが

愈々對決と

なつたらしく姜は深編笠を被つて二名の看守に導かれて靜々と留置場から檢事廷に來て對決したらしい本社の寫眞班が姜にレンズを向けると編笠を除つて泰然と肩を聳やかしてレンズの前に立つた證人の鶴見愛二郎氏は語る『今茲で擦れ違つた男こそ當日の男に違ひありません、顏と云ひ格好と云ひ

アレに違ひ

ありませんや、當日喫茶店入口附近の群集の中で彼の男が手に火の付いた紙包(今考へると爆彈でした)を捧げるやうに持つて並んだ人力車の後から投げたのですハッと思つたが彼の男は悠々と歩きだしました其の刹那に轟然爆發し押し寄せる人雪崩と共に卒倒を失つてしまつたのでした警察での證言にも五十以上の

田舍の老爺

で勞働者ではないと云つた風に答へましたが確に違ひです』と稍々興奮したらしい顏付で答へた鶴見氏は更に續いて對決を終つた大野氏は笑ひながら本社員のレンズの前に立つてから檢事に對決の模樣を語つた『彼の態度と同じ事を聞く人の好さ相な有樣は犯人とは思へないほどでした姜が笑つてゐるました別れ際にニ

此ナツプン サラミー

が尼いて來たとも云ひました兇行後も角姜の顏には確に見覺へがあります』檢事局に取調べを終つた檢事を聞くと『ナーニまだ〈訊問の時期でない〉と謎のやうた笑顏を見せてゐるばかりであつた。

私の眼を疑つた位です兇行後の姜の行動に就いて私の言葉と姜の白とは大略合つてゐるます姜が歸路姜は南大門通りを眞直行つたと云ふが自分は御成阪で見たのが違つてゐるました洋傘と赤縞のタオルを所持してゐた事などはピッタリと合つてゐるます私が姜に尾行した事を知つてヨッテ睨みましたが私は

帝展日本畫 入選發表 新入選卅五點

帝展日本畫は十日入選を發表したる八十二點中新入選三十五點なり(東京特電)

楢崎氏 帝展へ入選

京城出身の日本畫家京城南山町齒科醫楢崎東陽氏息東策氏は昨年二月京都の橋本關雪氏の門に入り本年の帝展に通過せり

支那十臺の 飛行機購入

上海を基點に空中輸送を開始せん

當地在住佛國中尉リユン氏は米國より陸上並に水上飛行機各五臺を購入せるが支那にては滴業用として用ひ又廣東上海間香港上海間の空中乘客輸送をも開始す可しと(香港電報)

二百餘名の 露支人 停車場を包圍す

二百名の露人と卅五名の支那人の一團は十月七日夜コルフオスカヤ停車場を包圍し線路を遮斷し通信機關を破壞せり(哈爾賓電報)

長春驛白晝の活劇

附屬地及北門附近を荒せる 支那强盗團を警官隊追捕し 大格鬪の後一名を捕へ一名を射殺す

過日來長春附屬地及び北門外方面に白晝横行多大の損害を加へつゝありし數名よりなる支那强盗の一團は附屬地附近に潜伏し居る形跡あり日支官憲は協力所在搜査中の處驛前の支那旅館福順棧に潜伏せる事判明し協商後

我刑事二名

は巡捕及び支那側密偵と協力して福順棧樓上の一室に踏込み逮捕せんとしたしに彼等四名は不意を喰ひながらも極力抵抗し茲に大格鬪を演じ一名は其場に取押へしも他の三名は階下へ馳せ下り戸外に逃がれ出でたる折柄

列車檢査を

了り來かゝりし他の警官は此の體を見るより直ちに追跡したるに二名の者は守備隊方面に逃れ去りたるも他の一名は驛頭より滿鐵俱樂部前に出で共同便所脇の入口より廊下に廻り便所傍に差かゝりし

枯草の中に

身を潜めたる處へ追跡の警官前後より襲ひ再び逃れ去らんと枯草中より飛出せし處を警官は其の場に射殺したるが逃走の際は追跡の警官に向つて

拳銃を發射

せんとしたるも故障ありて遂に一發も射撃するを得ざりし死體は支那官憲に引渡せしが此の者は崔德成』にて先日北門外の支那雜貨商を襲ひ逃走に際し同類の一人を自ら射殺せしものなり何分白晝殊に驛頭に起りし事とて群衆雜沓し一時非常の混亂を極めたり(長春特電)

益蔓延 釜山方面虎疫

累計三十名に達し人心恟々

釜山松島半島附近の虎疫は益蔓延の兆あり十日又復五名の吐瀉患者を發見し目下檢鏡中なるが十日迄の患者累計二十六名此の中松島方面四名にして尚は此の他二名計三十名に達したり又松島方面警戒勤務に從事中なりし外富民洞及び谷町に各一名其の巡査一名前日來吐瀉を爲し症狀疑はしきを以て虎疫患者と同樣の扱ひを爲し居れり(釜山特電)

潛水艦出港

七日以來仁川築港内に繋留一般に觀覽せしめたる戰利獨潜水艦は十一日午前六時閘門を出で母艦夕霧を先頭に第五第七之れに續き白波を蹴つて無事出港佐世保に向へり

疝氣五香湯

主治効能 せんき、せんしやく、神經痛、白リウマチス、血の道、産前産後の特效藥なり

三百年來 有名なる西覺寺 せんき妙藥の 定價 貳圓也 壹円五拾錢 七拾五錢 岐阜市上加納 西覺寺 全國到る處の有名藥店にあり

北村生觀畫伯

近く展覽會開催

下村觀山氏高弟北村生觀畫伯は七日入城目下明治町日の丸旅館に滯在中なるが近々展覽會を開催する由なり

終日どよめく 可愛い歡聲

龍山小學運動會

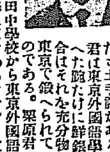
龍山小學校では十一日午前九時から同校々庭に於て秋季大運動會を催しましたポプラ木立に圍はれた校庭には彩旗翩々へ其下には元氣の可愛い少年と少女が嬉々として集まり各種の競技を規律正しく行ひました兒が競技に出るのを見る毎に幾多の母親は胸を躍らせて思はず手に汗を握り競技が終つてほつと吐息する人も見ゐました、午後から龍山幼稚園の園兒も交つて遊戯やら隠けッこをしましたが何れも無邪氣な元氣な有樣に見惚れぬものはありませんでした午後四時萬歲聲裡に散會保護者席から來賓席も可愛い歡聲のごよめく程に終日美しい微笑が見られました

開城の檢疫

新義州檢疫は廢止せられたるも開城に於て行ふことゝなれり但し警察官憲の證明ある豫防接種證明書を有するものは通過せしめ檢便の證明書は檢疫員に於て無効と認むる場合あり檢疫を行ふ場合は約十二時間乃至十八時間停留せらるゝを以て毛布等は相當の準備しあるも成るべく各自携帶を便とし金品は自辨なるも不自由なき樣準備しありと云ふ

庭球界の人々(三)

朝鮮銀行國庫課員 栗原悦司君(鮮銀)



鮮銀庭球部の强味は栗原君を持つてゐる爲だと土手評がある然し其は事實である栗原君は東京外國語學校の主將として三年間鍛へた腕だけに鮮銀内で光つて居る今秋の試合はそれを充分物語つてゐる役術としては立派なものである。栗原君は明治廿七年群馬縣新田郡澤野村に生れ太田中學校から東京外國語學校に入つたので朝鮮には未だ來て間がない鮮銀に入つたのを出て間もない前は現役通り恐らしい『外部の大將とは名ばかりで一向弱ひませんでした』と庭球界に榮ある戰歷を語らない若いが心地よい人である嗜好は演劇だと云ふが渡鮮以來芝居を見られないのが一番殘念ですと淋しがつてゐる未だ獨身だ相である(現住所は旭町鮮銀宿舍内)

運動界

美加登工專對戰 十九對一にて工專大捷

札幌仁川兩驛員を以て組織せる美加登野球團は九日潜水艦見學せる工專學生に挑戰午後二時より公園グラウンドにて開始五回にて十九對一にて工業專門學校大捷せり

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
工專	合山島神像荷田下丸								
	河西飯二宗稲増松藥								
美加登	求鍋井迫山鼎兒高金								
	島口本原玉田関								

日出學校運動會

十二日午前九時より日出尋常小學校では秋季大運動會を擧行する由

京中對仁商 野球戰

京城中學校野球部は從來對外試合は殆んど擧行されず競技よりも寧ろ體育の爲めに猛烈な練習を續けて來た然し同校健兒の意氣は旺盛で常勝軍鐵道俱樂部も鎧袖一觸の元氣で今秋の體育協會リーグ戰には是非共出場して京城を一蹴せんとして毎日鐵腕の擬を撫して居る同校では學業其他の關係で今秋もリーグ戰參加を中止した相であるが十日は同校生徒が潜水艦觀覽の爲め仁川行を好機とし仁川商業專修學校と痛快なる試合を擧行したり

お寺と教會

▲本派本願寺(若草町)は十二日午前九時より日曜學校開始同午後八時より『開放の宗教』小笠原布教使十三日午後八時より『惑溺か超越か』赤田留學生▲妙心寺(觀水洞)は十二日午前十時より『碧巖錄提唱』後藤瑞巖師午後二時より花園婦人會開催▲日蓮宗護國寺(旭町三丁目)は十二日日蓮聖人龍の口御法難會午後七時より法要後修同八時より『感激の生活』木村布教師『七百年前の回顧』逆見司監同十三日日蓮宗婦人會午後一時より說法要同二時より『家庭信仰の兒童に及す影響』木村學師『正法の讃稱』逆見司監▲メソヂスト教會(旭町二丁目)は十二日午前十時『基督教新約』中村牧師午後七時半『基督教倫理觀』同人▲京城日本基督教會(長谷川町)は十二日午前九時日曜學校同時朝禮拜『イスカリオテのユダ』尾石剛毅同午後八時夕禮拜『死に勝つの道』等尾石及星野德治

貫金町の小火 十日午後[illegible]の一部及び藁草の少量は家屋及び藁草にて七十圓位の損害[illegible]

龜井儀作、富田儀作、高顯能一、[illegible]辛、吉野祝太郎、山川貞、吉野武[illegible]一郎、[illegible]宇太郎、[illegible]大和良夫、中尾[illegible]

天氣 曇但少雨

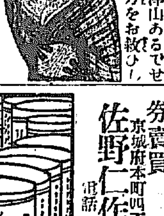
織元から直接廉賣 半値段

順次多數商人の手を經ず買ひば弊店は品質を精選して製織し好評を博しつゝあるが故に[illegible]

絹入島絣 特上十四圓 上十圓 [illegible]

青木商店 振替口座東京四三八壹番

お乳の出るクスリ



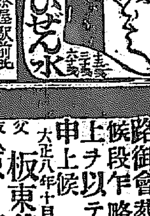
濱山出る奇藥メンスを今回發見しました[illegible]

急告 スッカリ粉テル中川式 けづり機

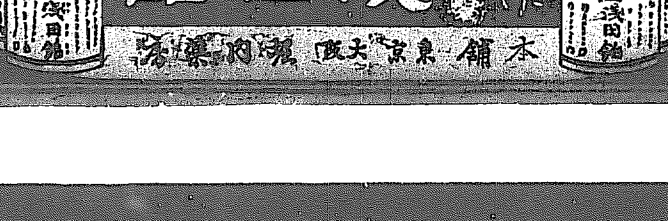
大正八年九月十三日特許局より第四九七五一號を以て原簿に登録せられ依て茲に特許許可廣告す併て製作業者に告ぐ 奈良縣 中川商會

馬拂下廣告 十月十四日正午二十二頭賣拂ス 平壤憲兵隊

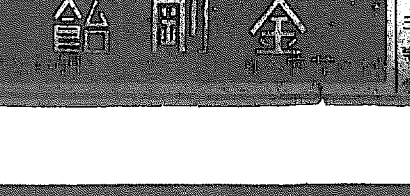
拾得金公告 一金參拾圓也 右ハ十月七日拾得届出アリ心當リノ者ハ申出ヘシ 京城本町警察署



大阪市外南海天下茶屋驛前北 本舗 田知本和三郎製 各藥店販賣 振替大阪二八八番



精米業、質屋業 籾糠、朝鮮古錢 券賣買 京城府本町四丁目 佐野仁作商店 電話一四九番



金鵄 登録商標 男女老若用 ポマード 毛を黒く長くつやを出す 赤毛・くせ毛ぬけ毛折毛 本舗大阪朝中通一 三宅

長男光雄儀葬儀ノ際ハ遠路御會葬被下候段乍略儀紙上ヲ以テ御禮申上候

大正八年十月十一日 父 板東義雄 友人代 原 親雄

[illegible]

第五版

蒙古開發

奉天　一記者

此の間さる所で突然彼の天鬼で名の通つた薄益三氏の朔渉守氏に出會した、氏は益三氏と共に蒙古や山東方面を飛びまはつて相當な辛酸を嘗めた人であるが目下は鄭家屯から約一日行程の蒙地を經營して居て盛んに牧畜を頻張る方である、先日天鬼益三氏と共に巴林方面を跋渉し更に北京を訪問し天鬼益三氏と別れ鄭家屯に引揚げ矢張り農場に納まつてる、記者が蒙古牧畜の事に就いて見込を聞いたが、氏は多年の經驗と智識を有された賓下の御意見は三間へば直に將軍の御意見も御道理で確かに一面の眞理はある、けれども未だ其の眞諦に觸れたものとは思はれない、蒙古人は自己が所有せる羊牛馬を可愛がる事は一と通りや二た通りではないから其の所有の羊を屠殺して食料に供する等と云ふ事は殆んど一年を通じて二回あるかないか位の事で萬一此の飼養してるものを

譯なしに屠殺

して食用に供するとなると其は殆んど際限のない事である、故に彼等は肉を欲する時は必ず牧場の附近を漁して鳥類や他の獸類を得て食ふの常態である、其他は例の膽子に牛乳を常食として居るのである、其牛乳なども單に先づ主なるものはバタである其種類は七種位には分ち得られ今日日本が用ひてる樣な單純なものではなく種々に精製されて高野豆腐に似通たもの其次はソアンナイズと稱して牛乳の醱化したもので日本人が用ゆる

味噌汁に當

るもの其の次がナイチユーと稱する酒である、一ツの牛乳が斯の如く精製されて使用されてるから決して苦痛は感ぜないのであると同時に牛乳の豐富な事は云ふ丈け野暮である、だが將軍の御話の勝に蒙古肉の食用肉として發達してる事は勿論でありますが是を毛皮肉の順序に即ち現代の需用の趨勢に應じて改良する事は左程の困難はないと思はれる其の理由は今迄支那人が蒙古人から毛や皮を買ふに當りて決して正當なる買收の法を執らない、非常に上等なものも劣惡なものもない悉く劣惡なるものと同等の價格を以て買收すると云ふ有樣であつたから爰に改良は肉に向つて注がれた譯である、故に其の價格を

正當に買收

すれば蒙古人は何を苦しんで其の改良に否を唱へよう、肉を賣れば一疋で時はあくのであるが毛を賣れば一疋で二疋も三疋も彼に立つ

亦であるから此の改良は決して一朝一夕の事でない、故に私共は此の見地の下に蒙古の牧畜計畫を進めしく譯でありますと話は一轉して要するに蒙古方面でも何處でもあるが食料なきは決して心配する事はない人の食つてるものを食つて生活の出來ない事はないが苟くも或地方で經濟的の

關係を持つ

樣になれば通貨問題である、日本も近來蒙古から西伯利へかけて鮮銀の進出があつて大いに活動をして居られるのは宜いが强うする處で他一般の頭が又身體が働いて來ないから心細い、露國の南下政策が盛んに行はれた時などは蒙古人間に留紙幣は極めて廣汎に通用されて居た、即ち露西亞の商人等は毎月殆ど日を期し蒙古内に行商を試みて居たから……蒙古貿易を盛んに實行して居たから、然るに日本では蒙古貿易だとか蒙古の開發だとかは盛んに唱へられるけれども是れを實行するものがない、だから

留紙幣は今

尙ほ蒙古内で通用してるにも拘らず日本の貨幣は全く其の影を見せないの此の邊は當局としても充分注意を拂ふ必要があらうと同時に私共として極力是をやつてるけれども微力其の効果の見るべきものゝないのはお恥かしい次第である、要するに蒙古の牧畜は勿論土地經營も將來極めて有望であるが、事業は決して容易ではない困難な處を突破して進んでこそ始めて愉快もあり興趣も起るのであるから日にやけた顔に頬に眉宇に大なる決心と愉快さとを漲はせつゝ語つて鄭家屯に向つて去つた、

滿鐵勞働問題

地方部に社會課新設

母國に於る勞働問題は今や愈々高調し來り、現下一般高唱せられつゝある勞働問題の新理想に基づき施設を試むる者を生じ來る等、斯問題は漸く理想の域より實際化せられんとしつゝありて斯の問題研究の緊要なる單り社に於ても直接關係を有つ者に止らず廣く一般の留念、講究すべき大なる社會的宿題なり、滿鐵會社にても、此の情勢に鑑みる處あり、相當考慮を拂ひ來りしが過般來會社地方部中に社會課なる該問題研究の一機關新設の内議ありて不日開設を見るべく、目下會社幹部間に於いて稱々研究の步を進めつゝある模樣にて、既に沙河口工場其他に於ても具體的調査を開始せし由なるが滿鐵は斯幹部中に斯問題に關し相當抱負を有する學者を有する事とて、勞資協調の契合點に對し相當、進步せる新時代に適合する新方策の樹立を見るなるべしと觀ぜらる(大連)

雨亭將軍と包瞎子

道の張作霖も盲目蛇には勝てぬ

奉天の名物はと問はれたらば吾輩は雨亭將軍と包瞎子とを(イ)の一番に擧げるのを躊躇せぬ、雨亭將軍とは皆樣御承知の張作霖將軍で包瞎子とは包秀峰と稱する盲人の易者である、雨亭將軍の事は既に著名な事であるが包瞎子の

秀峰の事は多

く知られて居ないから其の一端を照介する事とする、先日後藤軍次郎が語られた如く雨亭將軍の目は一種特別で將軍の全部を物語つて居る、が此の聰明叡智な將軍も時に自分一個で事を處理判斷するに苦しむ事があると見る時に將軍の判斷を助け聰明を補ふものは將軍と正反對の目の盲ないたら包秀峰の瞎子である、彼れは肉體上の目こそ盲ないたれ其の心眼は開いて雨亭將軍の目以上に働いてる云ふから恐ろしいではないか、彼は易者である、

賣卜者である

是れ現代的に云へば預言者であつて、張雨亭將軍が事件に逢著し判斷に苦しむ時、事件を計畫して其の目的の遂行上に危惧を抱く時、聰明なる智力を以てするもその破路に立つ時必ず秀峰は呼び出されて將軍に新活路を指示するのである、其の指示は頗る正確で而も的確であると云ふ是れが爲め奉天は勿論北京方面の官界の上流者は

彼の指示に從

ふて行動するものが極めて尠くない、彼は學者でもなければ宗教家でもない將た又政治家でもない只平凡に生れて平凡に育つた盲目であると云ふ所から普通の易者として立た丈けの者であるが、而して雨亭將軍との關係は何時頃に始まつたものかその邊は記者のまだ知らぬ處である、が將軍が瞎子を遇する極めて懇切であるのは事實である、彼れには東三省巡閱使署顧問の肩書がある、將軍公署顧問の肩書がある、而してお手當は目下の處八百圓でそれも吉奉問題が解決すると共に四百圓が八百圓に昇額された、當て

吉奉問題が起

つた時瞎子は時間尙早を以て雨亭將軍の吉林突破を諫止した、今回の吉奉問題が起るや彼れは先づ雨亭將軍に時期到來を告げ更に出兵の期を散へ而も一兵に勵らずして目的の達成を預言した、事件は多少の迂餘曲折はあつた、けれども結果は瞎子の豫言の如くなつた、將軍は彼を賞して增俸を行ひ八百圓に昇給した、今回の東三省巡閱使官制の制定其の他も秀峰の豫言により目的は達せられた、其の外將軍が雨を禱る事から殆んど秀峰の指示に從はぬものはないのである、前述の如く瞎子は

將軍の顧問で

あるが依賴するものがあれば決して斥けない、孫烈臣將軍が黑龍に督軍となる事なども二箇月以前に既に豫言したのである、故に奉天官界の主要人物の出るに入るに從くに還るに大抵は瞎子の指示を受ける者が多い相である、何れ又出瞎子に就いては稿を更めて物する事があるだらうと思ふ、兎角奉天名物の一たる事を參照すれば宜いのである(奉天)

麻袋問題解決

特産商大會に於て

四日の特産商大會にて委員附託となりし麻袋問題は五日午前十時より商業會議所にて開催、各團體よりの特別委員十一名及び滿鐵側より田村運輸部營業課長列席し、協議を重ねたる結果本會議に於いて異論百出歸結する處を知らざりし本問題も各委員の互讓により漸く一致點を得て決す、一、麻袋は大豆の價格込みにて賣買する事、一、混保大豆の麻袋は保管寄託の際を以て標準とする事、一、舊麻袋は滿鐵倉庫係員が認めて最も良好とするものを舊一等とし其他を二等とし代用する事を得、一、舊一等麻袋入り大豆は標準麻袋入りに對し一袋に付き十錢、舊二等麻袋入りは三十錢値引きする事、一、寄託後三十日を經たる大豆は麻袋減價とし一ヶ月來滿毎に一袋四錢の値引をする事、一、滿鐵の保管設備不充分なる際の補償として混保大豆證券所持人に對し滿鐵より金八錢を申受くる事

著筏依然順調

鴨綠江採木公司の流筏は去る十日まで到著せしもの五千百二十三臺なるが數日前多量の降雨ありし爲め何れも增加したる見込なれば今後も順調に著筏を見るべし目下の豫想は料棧の分五千五百臺、直營の分五百臺合計六千臺の見込みなり(安東縣)

國境檢疫廢止

滿洲地方に虎疫流行猖獗を極めたる爲め滿洲安東地方より朝鮮に入る旅客には從來新義州に檢疫所を設け採便檢查の爲め約十時間乃至十二時間抑留し來りたるも滿洲方面の虎疫は殆ど終熄に近づきたるを以て八日を[illegible]より同檢疫所を廢止し醫員及び看護婦は同日出城に引き揚ぐる事に決定したり是と同時に安東、新義州間の鐵橋交通も一部に制限を加へ警察官憲の健康證明を要したるも同日限り自然解除し自由交通を許可せらるゝ事となれり(安東縣)

釜山ホテル開始

去十日から開始したる釜山鐵道ホテルは既に竣成せるが今同ホテル寺澤支配人の談に依れば『何しろ開業を急いだ爲に此一週間程は裝飾や寢具類の備へ付けで殆んど徹夜兼行と云ふ有樣であるが取り敢えず六日から假營業を始めある今回の開業は十日から始める筈で正式の開業の上の現代的の新設備をなしたる點を擧ぐれば客室毎にスチームを通したのと浴室には赤相當な設備を施した事で就中特殊な點は二階三階とを繼ぐの出來る樣になつて居る事ですが規模の上から云へば階上の客室が以前より八室ふへて拾六室となつたのと階下の食堂が元の三倍程廣くなり三間ぶつ通して裕に貳百名近くの宴會が出來る上に御客樣の御所望とあれば即座に舞臺迄仕組まれる用意がある、階上の廣間も催したいと云ふ希望の方には屋上にバルコニーがしつらへてあるから四百名は充分に收容が出來る料金の點は頗る簡便になつた事が食事を目的とする人には朝食一圓、貳十錢位晝食が共に二圓、食事付の宿泊料は十四、十五圓の二種に改め只室丈けとの注文あれば二室で一日六圓一室一日四圓、階上大廣間の臨接使用料一人前五十錢六時間が十四圓一日借切が十五圓とし當食堂前面の空地には週圍に常盤木を植付理想的の庭園につくりあげて將來は之を全く公開する筈であると云々(釜山)

大連近事

石本氏就任勸告

既報の如く先きに大連市長第一候補者に當選したる石本鏆太郎氏に對し三日付關東廳より認可の指令ありたるが、石本氏は既記の通り辭意牢固たるが、之れに對し當局は尙氏の起用を欲して就任を勸告しつゝある模樣なるが、氏は絕對に受諾せざるべく、而し當局の切なる勸說に對し即座に辭するも、些か禮を缺ぐの嫌ひあるを以て、六日改めて市長就任を辭すべしと傳へらる

滿洲特産大會

滿洲特産商大會第二日は五日前日に引續き實業倶樂部内に開かれ大豆混合保管に伴ふ麻袋問題に就き議する處ありしも、滿鐵の麻袋管理に關する收支對照表提出し議容易に纏らず結局委員附託となる、第二案、滿洲特産物輸出貿易の振興に就き官廳に對し相當の保護方を申請する件、第三案雜穀の麻袋斤量を一定するの件、以上二件も委員附託となり、第四案內地向輸出の特産物に對し目減保險の方法講究の件は次回大會迄宿題と決す

鄭家屯混保加入

鄭家屯の大豆混合保管制度に加入を望めるに對し、滿鐵側委員右に就いては四鄭鐵路當局と協議ありたしと述べ、尙且大會の意嚮も該交渉に對すべく援助の勞を厭はざる旨を表明す

商況

株式

東京株式（至急電報）

十一日第一立會

		前電比較
東株	四二四、〇〇	四、一〇〇高
同新	四〇〇、〇〇	一、〇〇〇安
鐘淵	一八六、一〇	三、八〇〇安
二新	一五三、〇〇	一、七〇〇安

東京現株（至急電報）

△印騰貴　▽印下落

銘柄	掛込	十日中値
鮮銀	一〇〇、〇〇	△一六三、〇〇
同新	七五、〇〇	△一三七、〇〇
京電	五〇、〇〇	……
東拓	四〇、〇〇	……
同新	一二、五〇	……
殖銀	三〇、〇〇	……

京城現株（標準値段）

△印騰貴　▽印下落

銘柄	掛込額	價
仁取	二五、〇〇	一五六、〇〇
朝郵	二五、〇〇	四二、〇〇
電興	二五、〇〇	一八、五〇
皮革	二〇、〇〇	二六、〇〇
東畜	一二、五〇	一五、〇〇
朝紡	一二、五〇	三二、〇〇
朝紙	一二、五〇	三五、七五
商銀	二五、〇〇	五六、五〇
同新	一二、五〇	△一八、〇〇
滿毛	一二、五〇	五七、〇〇
滿糖	一七、五〇	△四七、〇〇
朝煙	二〇、〇〇	△三二、〇〇
輕鐵	二五、〇〇	七一、〇〇
鮮土	一二、五〇	二二、〇〇
東亞	一二、五〇	四四、七〇
棄貨	一二、五〇	三四、〇〇
仁倉	一二、五〇	一五、五〇
製粉	一二、五〇	一九、〇〇
朝日	一二、五〇	一四、〇〇
朝綿	二五、〇〇	二二、〇〇

出來高平均値

	平均値	出來高
仁川取引	一五五、五〇	五〇
殖産銀行	一〇四、〇〇	二五〇
東亞新	四五、〇〇	三五〇
朝鮮紡織	三二、〇〇	四〇〇
朝鮮煙草	三二、五〇	二三〇
商銀新	一八、〇〇	二〇〇

內地株無商內

地株は氣丈

最近內地株不況閑散の折柄當地思惑者は漸く地株の撰擇に著目する風あり茲兩三日內地株の商內皆無なるにも拘はらず東亞仁取郵紡朝煙の如き連日堅調的に手合せ行はれ居れり爲めに仁取の如きは逐日氣丈の成行を見せ昨の如き高値百五十七圓の商へあり本日の百五十五圓五十錢は一見頭打ちの感あるも右は店同士の仲間取引にして一般の唱へは依然五十六圓を下らず而かも買氣の割りに賣物少なからず殊に一段のヂリ高を辿らんかと思はるゝ東亞も最早四十五圓以上にては容易に手に入り難き形勢となり朝紡、內地の紡績株反落の形勢もなく依然三十二圓處を强硬に保合ひ朝鮮煙草も東亞の小締りに連れて買氣盛んなるが如きも目下殆んど品不足氣味にて昨日仲間取引三十一圓五十錢にて百枚行はれ二百三十二圓五十錢以上にて三十の賣手付きたる等なり商銀新株十八圓處にて四百枚の手合せありたる等一般に氣丈なる商內振なり電興のみは未だ先の氣配を回復せず依然十八圓處の弱唱へなり

滿糖小戻り

南滿糖は定期の四十七圓十錢をれて現物五十六圓に低落したるが昨日四十八圓八十錢とぶ入れて現物も一二圓方引返し四十七圓處を唱へらる

商銀朝煙堅り

商銀新は昨日十八圓賈八圓五十錢賈にて四百枚の商內あり前商內より一圓方引締り尙朝煙は卅二圓五十錢に二百枚の商談成立し之亦一圓方上向けり

西鮮殖産公募

西部朝鮮に於ける鐵道運輸並びに拓殖上必要なる諸種の事業を營む目的とする西鮮殖産鐵道株式會社は愈々十日許可指令に接したるに由るが、同社は資本金壹千萬圓にして總株數貳拾萬株より其一割を割きて一般公募に附し來る十八日より二十一日迄當地各銀行に於いて取扱ふ事となるが發起人賛成人は全鮮有力者を網羅し三菱東拓に於いて各五萬株宛を引受け尙三井系の關係も淺からざれば前人氣盛んなり

○日本綿羊株締切　去十月一日より當地商業銀行に於いて受付け居たる資本金五百萬圓の日本綿羊毛織株式會社株式募集は昨十日を以て締切りたるが當地方の應募一萬六百株に達したりと

玉整理時期

大阪場況（十日）

新甫發會以來の値下りは未だ以て從來の仕掛玉を整理する程度に至らず之れ有るべきは當然ながら前日の棒下げにより人氣的に回復難の恐怖心を落さしめ此際多少の反撥あるとも從前の如き群衆買の勢力を挽回し難きは勿論寧ろ戻りは買方自身の手詰りによりて相場を壓する事となり易き懸念あるのみならず相場に於いて東西兩市場共に大阪組の賣玉是正の傾向あれば一層是が整理に急なるべく殊に最近の賣玉驟逃の定期のみに限らず現物賣流行の顯著なりし事實に徵して一層甚だしきものあり即ち此點に於て既に二重の打擊なるに加へ代用の値下り銀行擔保の低下等の據金及び頭金追徵に迫らるべき事情も伴ふが故に全般的の整理が行はるゝ迄にも相場の低落は免れ難く即ち目前の落付き狀態は却つて軟派の出動に便せんとする形勢なり

群衆投濫る

前日の棒下げは投げの現はれたるに基づくは勿論ながら尙一般には味ち寞ねの觀念强く且つ相下げか餘に急なりし丈け其投は畢竟地廻りの者のみに限られたる傾向あり即ち地方筋賣玉の多數は依然として維持せられつゝあるは之れを想像するに難からざると共に地廻り筋買玉と雖も左程に嵩まず今少し値下りを喰ひ持ち居れば之れ等の買玉は相乘なつて投げ退かるべき事情を包む故に罪に喰合關係と人氣の變化によつて形勢は々不良を加ふべく要するに群衆の投げ益りは轉々たる手先の群衆買の裏となりて相場の上に具體化さるゝに至る事遠からざるべしと云ふ

大阪より

△種々なる會社が出來ると思ひたら遂に東京で菅原通敬クン等が發起人となりて資本金五百萬圓の日本味噌製造株式會社と申すが計畫され候地の有田信一クン等の株式一萬千株を公募するに就て額面以上と云ふ息、發起人等の併せに日くへン憚り乍ら近頃のイカサマ會社と違ふと味噌を云ひ自慢の種ひますまいと仲々洒落た者に候△島クンも世間の誤解を本日の如く阪と共に辯明したやに候何し ろ田所平頭クン等に今度は先手を打たれたので無理もなく候△其の大電員の增俸運動は遂に面に終ると申す者有之候へ共部記者に春日大電當事者は市內各新聞社へ報告やらをするさうだから何裕綽々たるものに候△大電の後任常務曰く永村顧問

大阪後止め

十五日九十錢中四十四圓二十一錢先四十二圓七十九錢を高値として四十一圓九十錢で好き押目を作つて仁川神社の祭典式にて市中大賑ひの爲めに買方の手控に乘ずるも人氣は不自然の傾向を示し小口買方をして嫌氣を催さしめ十萬餘石の賣玉を押付けられ倘も中村一派は愈々底を固め限月戰を期待され居る のみならず

中限二萬石

は受米に大阪正米師が肩代りの交渉も有れば弗々軟派有力者も前れ氣味を催し來る傾向を見透したる歐派の策戰買ひに五六十丁高の四十二圓五十錢より七十錢見當の高唱へを主張する向多く買方一派は氣勢を揃へて活躍の步を歸めんとするか如し

內地更に高し

內地米收の豐作見越し乃至物價調節の聲も米價の緩和に利目無く反つて政府の外米拂下は米に行はれず且つ今日迄輸入せられたる米は大牢消費派の豫期の如くに結果を化せられず政府に於ては外米代用制限きに依つて政府に於ては外米代用制限に依り硬派は渡し米の意向あるなど硬派は渡し米の結果を固めて結局自己の豫想以上に受け米を獲る如く新甫發會以來の見込額は四十三圓十錢の新値を現はし渡し乘じて漸次正米に顏寄せして來るも從つて低く仁川市場も之に呼應して米價押上げの新米期に對する理想買の旺盛な方の一派の活躍を見ついあるが今後或は所に壓せられ然れども强氣として迄の値幅ありとして代何一百丁に近かく買餘地ありとして中限を決戰の月標終點一貫之に策應せんとするもの如くにして

肥料石灰精米石粉

京城本町二ノ九　電話三〇五四番

大正石粉工業株式會社

現

公債株券現物賣買
有價證券信託業

西村商會

京城府黃金町百六
電話參〇壹番

持約店

東京信託會社　賣屋　久保田正治商店
大阪株式取引所仲買人　雁半　中村半兵衞商店

賣　買　株

仁川期米

休日內氣配（五六十錢高）

昨後場は阪地の減切高を移した場面に當市場は仲今値ね四十二圓二十錢に打めたが之全く二日の休日を懸念して手詰め急ぎと戻り待ちの結果なる所の結果なると見るのであるが買方主力の中村氏は語りて曰く勿論十一月渡と云へば軟派の書入月とも唱へる事故市場に▲米の山を築く月であるから餘程米界の大勢を熟考して

下關期米特電

十一日前場　晴

	當限	中限	先限
寄付	四二、四〇	四三、一〇	四三、四〇
高値	四二、五〇	四三、六〇	四三、六〇
安値	四二、一九	四二、九九	四三、五〇
止め	四二、五〇	四三、五〇	四三、七〇

大阪期米特電

	日前場	十日後場
寄附	……	四二、七九
高値	……	四三、一一
安値	……	四二、七九
止め	……	四二、九四

正米變らず

神戸期米特電

	日前場	十日後場
寄付	……	四二、二九
高値	……	四二、三九
安値	……	四二、二三
止め	……	四二、三〇

正米變らず

日午前中の內氣配は恐前の如く五六十錢高の唱へなりしが今前場大阪東京共寄下鼻當寄付四十二圓九十錢三圓五十錢高値止め中四十三圓十錢止め五十錢先四十二圓五十高値八十錢止めを比較すれば當限八十丁中五十七十錢の人電にて前日後場値に先二十五丁何れも高調なりしを以つて大阪も無論同一步調なるに相違なきより當市場も午後は一段の人氣を强め後場の成行如何によりては休日明け發會き更に意外の大相場を現出する事に至るべし此發最後の天井に近づけるものか將た硬派理想値の五十圓を實現すべきか新米の出廻り工合ひにあるが農家は資力充實と米價の前途を樂觀せる折柄最近開催したる全國農會に於ては米價低落の防止策として持米の濫賣を爲さしめざる事を宣傳すべく全會一致を以て決議したるなど例へ新米期に入るも例年の如き出廻りを見る事難く前途の成行きは只當局に於ける物價調節の對策如何に待つの外なかるべきかと

下關米取引所仲買
桝谷米市
多少ニ不拘御注文被下度確實迅速ニ取扱可申候尙別店ノ下關第一銀行在友銀行支店又ハ百十銀行ヘ御問合セ乞フ

風聞錄

柏子に四百四五十丁も安値から暴騰されて居るに當市場は阪地の相場は新甫發會以來トン

京城正米市場

過日來强硬の裡にも上進ぶり稀落なりし當正米市場も事後場の

買方の向を張らねば捐り追ふ正米攻めに殺されて終ふ事になるのである去れば此の中限に仁川力武氏と買聯合と云ふ譯でも無いが▲十萬餘石程同一の步調で買進んで見たが値かの利益を好機に見拔けを行ひ高い相場を壓迫されたのには聊か憤慨せざるを得ざりしも併し斯の如き小策手段の定期師を相手にすればこそ腹も立つ理さ▲愈々度胸を極めて先限も敢ひて買進み危ふなく軟勢に陷入らんとする場面を喰止めるに到りしは場立連中の後援者り多きと米價の大勢に添ふ次第御影で一命を救ふ事を得た次第であるが未だ一寸も油斷は出來ぬと覺悟は極めて居ります然れば內地は新記錄の豐作を傳へてもつ米價は何が爲に高いかと云ふ事に付いては種々原因もありましようが諸物價高に對照して米だく米價の安値は許されぬのみか昂騰を保つ餘裕を殘して居ると思ふ何んとなれば▲今回の內地勞働問題や其他の事情から綜合して見ると資本家が生活難を防ぐ丈の餘力を有し又勞働者の生活上を持續せんとする傾向を有する以上新米氣分に乘じ買込むは危險なるのみならず徒らに米を買ふは國民の生活を呪ふなど不倒も考へず我田的の理屈を付けて買る其者が結局相場を高くする根定を作つて居るのであるまいかと氣焰萬丈である

錫は？嘘か

最近大電は倫敦に於ける標準錫は一擧に五磅四方の三高を報じ來れるが右は昨今鉱力の需要激増に因るものなるが內地市場にては目下新嘉坡物約四百噸在荷の見込にて東需要額は充たなりとの事なるも之が爲め最近新嘉坡入電はあたら戀は新來市場の好調につれ値下りの見込更に引合の爲め輸入業者に於て五噸見當なれど茲ニ三日間と云ふ豫想さるゝに當り神戶稅前物百四十五圓唱へに二百十三圓三十錢にて賣を約し又同數を以て新嘉坡物二十二圓十錢乃至二十五圓十錢を報じ義物に十二圓十錢にて一千五六百噸出來したり(十一月釜山)

鉱力需要旺盛

鉱力は昨今期近物入津と共に思惑筋の手持貨現はれたる爲め引締れる市場も幾分動搖の氣味ありしが外電は本國高を傳ふるのみならず局罷業の影響を受けりケ月以上の積出し遲延の見込なる目下諸罐詰用等にて需要頗る旺盛の折柄なるが、此の需要の最中に吸收されば期近物も悉く鎭に吸收されば期近物も悉く鎭り市場の人氣は俄に引締まり引締まり氣配を唱ふるに至りしと

綿布釘付狀態

昨後場大阪三品は當限五百九十圓六十錢先限五百五十八圓と前日に比し各期稍々引戻し步調を移せるが需要の閑散に冷靜を構へ居れる當市中は相變らず我關せず焉として見送りの態度なれば相場も殆ど釘付に等しくしてれ各手筋共に無聊に苦しみ居れり

白米小締まる

白米は原料高氣配の割には比較的落付き模樣を示せるも今朝の唱へ上玄四十三圓四五十錢より渠算すれば五十二圓二三十錢に相當すれば麥ひ幾分宛の引締めを免がれ難く市中卸値は五十一圓八十錢乃至五十二圓と小締まり成行きにて眼先原料の强見越さへ相俟つて頗る强硬を呈せり

雜穀依然見送り

頃日來商內不振の裡にも氣じを維持せし大豆は正米の高値模樣を受け一段好人氣を唱へ今朝は區滿物二十二圓五十錢東大門新二十二圓三十錢通山新十一月渡り二十二圓三十錢處の賣物ありしも鮮人側の買氣薄の爲め商內更に行はれず當滿洲粟も前報事情の如く見當は依然物直鎖十七圓前後物十七圓二十錢處なるが之又仲合せ皆無にして買數は皆より

仁川正米氣配

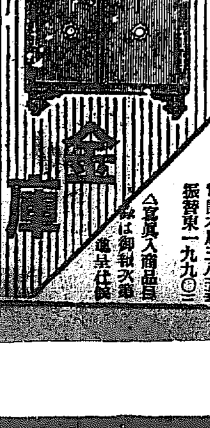
仁川正米界は目下變らず休業を續けしつゝあるも阪地の期正米高を受けみ手持筋の賣惜みと強からしめたれば今內氣配は三四十錢高の三十二圓位見當なりしと

期米奔騰

氣味となり昨日搭上玄四十二圓九六十錢見當の唱へとなり昨午前中より四五十錢丁方の昂騰を示せるが眼先一段內地の高報あるを氣構へ賣物殆ど影を沒したるが如く朝來立の姿とへ見へ一面高値は買人見送りなる勞に內更に行はれざれば眞の見當立ち難く殆ご混沌に等しき成行きなるが今後積極的調節策の行はれざる限り尙幾段の高値あるや知ら可からずと氣迷ひ手口にも眼先高の觀測はれ居れり

釜山正米市場

內地期米引續き硬調を報じ從つて釜山正米市場も活氣を呈し一斗二十錢高の三等神力四十四圓十錢見當なるが仁川物貳三等米四十一圓五十錢地摺玄米四十一圓九六十錢三等合格の新米四十四圓七十錢見當の唱せ



國末式ベント金庫

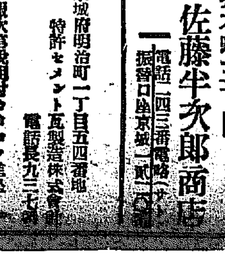
進步せる學理と最新の機械力とにより製作せられたる……
國末式ベント金庫は
人爲的破壞は勿論猛烈なる熱火と重量物の壓擊に無限の抵抗力を有するは國末式ベント金庫の本領とす
內閣諸官省御用　金庫製作所
國末金庫店
東京市日本橋區通四丁目
電話本局三八五番
振替東一九九〇三
△官廳入商品目錄は御報次第進呈仕候

內科
胃腸病科
診察午前九時迄
京城本町一丁目
石川醫院
電話一二七〇番

眼科專門
入院應需
京城明治町東拓横（電話一〇四四番）
日曜祭日午後二時迄
江頭眼科醫院
江頭富雄

地雀用極上等明綿製
カスミ網
二十間…
前金に限り送料當店持
代金引換送料實費申受
朝鮮京城永樂町
吉備商會網部
電話三一四番
振替京城四三八番
地雀の時季は今です、カスミ網は小供でも張れます、十羽位は容易く捕れます、朝晩の御樂みのみでなく運動にもなります

虎疫流行の時
最も的確なる殺菌力と蠅及其幼虫を斃すには
警務局衛生課御用
特製クームヒン
の御用を
製造元　京城旭町一丁目　電話一〇七八番
京城元町一丁目　山田禎輔　電話二〇四番
振替京城三壹九六番
特約店　新井藥房　久山天佑堂　島森川藥店



專賣特許　セメント瓦
京城府明治町一丁目五四番地
特許セメント瓦製造株式會社
電話長九三七番
御一報次第説明書付カタログ進呈

▲ストーブ各種
▲鴨　金各寸法
着荷
和洋金物商
京城本町三丁目
佐藤半次郎商店
電話二四三番（振替口座京城一貳一六番）

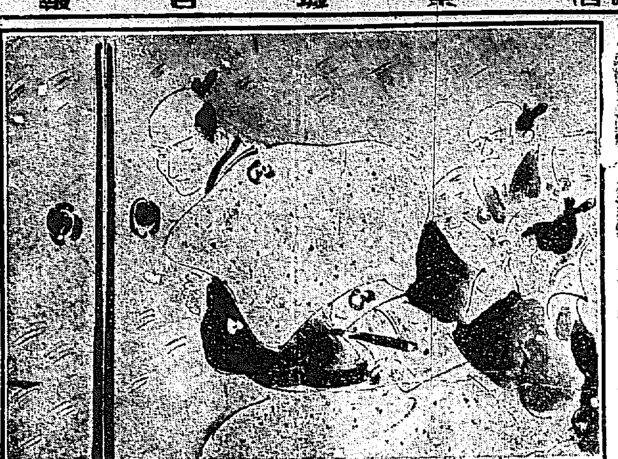
運轉手養成
極東自動車學校
現代に於て最も確實に最も收入多き自動車運轉手を三ケ月にて本校が責任を以て運轉手免許證を取らしむ
免許證受領後就職紹介す。主任教授米國工學士
十一月五日新學期、規則送呈す。東京芝區琴平町貳番地

伊達騒動

第二十七席　小金井芦洲講演

中村必死の諫言

又一説には高尾をお國表に對して御還はしになつて綱宗公御逝去の後は綠髪増す黒髪を剃落して餘念もなくお館のために御回向を申上げて居りましたが、七十七歳の長壽を保つて享保元年十一月二十五日仙臺表に眠るが如く往生をいたし、其遺骸は仙臺の城下荒町の日蓮宗佛眼寺と云ふへ葬つて唯今以て墓は立派に殘つて居ると申します。偖は孰れでございまするか宜しく讀者の御判斷に任せます、其後のお話と致して偖て綱宗公は愈々以て日夜の御亂行甚だしく、其後とても吉原の廓へ節々お運びになりまして、改めて三浦屋四郎右衛門方の薄雲太夫、勝山太夫と言ふ二人を御寵愛、ごうも手が付けられない、スルと爰に先年亘三平國照が切腹仰付けられた時に檢視のお役仰付けられ、心ならずも其お役を勤めました中村四郎左衛門、此人はお館が未だ巳之助と仰せられて御幼沖の頃御傍にあつてお守役を致して居りました、實に誠忠無二の侍で日に〳〵御亂行の重なるのを見て慨嘆に堪へず、一日お目通りを願ふとお許しがない、自分に小言や意見を云ふ者は逢ひたくありませんから成るべく逃げてお出でなさる、三日四日と續いてお目通りを願つて見たが何うしてもお許しがない、據ろなく第七日目には御取次を願はず、ツカ〳〵とお次の間まで進みました、御近臣が驚いて〇『中村氏、御許しもなく是れへお進みなさると云ふは御無禮でござらう、お退がんなされ』△『御用の趣御取次をいたすに由つて夫れにお控へなされい』四『イヤ、一大事出來致したに由つて罷り越した其方共こそ差控へて宜しからう』〇『何になッ』と打つて掛る奴を右と左に揶つて退け、遂々御前へと進み出で兩手を支へ　四『エヽ恐れながら御酒宴の半ば、お妨げな仕り恐れ入りましてございますが、今日まで毎度々々御目通りを願ひましても御病氣など御申立てになりまして何時かなお許しがございませぬ、今日は堪り兼ねまして御斷りもなく罷り出でましてございます、御近侍の人々拙者を支へまするで鳥渡ばかり狼藉を仕りました、エ、今日は容易ならざる一大事の儀を上中を仕りまする、暫時の間御人拂ひの儀を御願ひを致します』殿『酔うてはお出でなさるが思ひ出せば幼沖の頃傍で守育てをして呉れた四郎左衛門、聊か遠慮がございますから酔眼を見張つて　殿『オヽ四郎左衛門であるか、何か諫々しきことは予は聞きたうもないが、容易ならざる大事とあれば暫時間取り得させるであらう、一同遠慮いたせ』左右に控へて居りました悪人共も憎々しさしてお席を退ざかつて次の間に……殿『四郎左衛門、何事ぢや』四『恐れながら申上げます、殿の日亘三平書を以てお諫め奉りましたるに、御怒りに觸れて切腹仰付けられ、其後聊かの御愼みもなく御亂行月に日に募らせらるゝは實に歎かはしう存じます、恥く申上げなば、またく御心に逆らひ參らするは明かの儀とは存じ奉りますが、謂はで叶はぬ今日の仕儀、臣として君家の危急存亡を默止するに忍びず、由つて不敬を顧みず斯の如く申上げ奉ります、恐れながら君は兵部少輔殿並に原田甲斐を殊の外信じ給へど、是は亘三平の申上げました通り口に蜜を含み尻に劍のござりまする蜂と申する蟲に等しく恐ろしき害を殘す者にござる、御家老職神崎右衛門、荒浪梶之助等は數にも足らぬ奴なれど飽くまで家のためにならざる獅子身中の蟲、由つて立所に御暇仰付けられ、兵部少輔殿は早々御隠居仰付けられ、原田甲斐には切腹、其外君の御爲めにならざる渡邊金兵衛、遠山勘解由、石當數馬等皆是等は蟄居仰付けられ、御身を愼み行ひを正し給はゞ是れお家萬代不易の基なり、偏に御賢慮仰ぎ奉りまする』殿『默れ、重ね〴〵無禮の過言、憎くい奴が、予の家にて中村四郎左衛門と云ふ聖人あることを聞かぬ、汝猥りに予の寵臣を罵り予を辱しむる條奇怪至極、君臣の禮を忘れ居つたか、白痴者ッ』



産科 婦人科　京城壽町 電二一〇一　二宮醫院　醫學士 二宮亮吉

京城長谷川町 殖産銀行前　内科 小兒科 花柳科 外科　岩田病院　正五位勲三等 醫學博士 岩田末彦（電話一六二〇番）

人參王　京城本町壹丁目 電話一四八〇・一八七〇番　㋡津村兄弟商會

十月十二日　日曜　（舊）八月二十日　きのとみ　いぬゐ（西北）　友引　六白

▼五黄△何事も注意を要する日

▼六白△活潑なる日にてハキハキする日なれど餘質意なき日也

▼七赤△金錢に縁ある日なれど酒色に迷ふ時は不可なり其他吉

▼八白△住所の動き又は旅行の象あり物事七八分通凡て叶ふべし

▼九紫△すら〳〵と物ごとの運ぶべき日なり萬事進んで吉なり

▼一白△不平起り易き日なれど辛抱すれば却て引立らるゝ事有

▼二黒△ふら〳〵定まらぬ日也

▼三碧△名聲の揚がる日にて運勢の強き日也但短慮に注意の事

▼四緑△名の揚がる日なれば成可く愼みて吉運を逸する事勿れ

月やく こまり　不順で御心配の人は　本院の専門學士が苦心研究した安全確實　流經散　返信料添へ申込へ　妙藥 效ふ　實驗者は大喜び！　東京西巣鴨町一九〇九番地　東京婦科院

演藝案内

本町二丁目 電一〇五〇　壽館　當る十月十、十一兩日午後六時より　村進秋期大温習會番組　▲きづ川（曾根田敏子）▲ながしの枝（曾根田敏子）▲福壽草（白木梅子）▲松づくし（花芳美代子）▲夕立（馬場美智惠）▲我物（石山八重子）▲いたこ（喜多あや子）▲宇治（沖家たき子）▲しのぶうり（原田初子）▲三社（馬場照子）▲住丁（金子春子）▲三國一（浅田しづ子）▲北州（大榮まさ子）▲花朝さて（花房美代子）▲越役しし（喜多あや子、白木梅子）▲子守（馬場美智惠）▲友奴（引ぬき）羽根（藤松さし子）▲ましら（金子春子）▲花奴（浅田しづ子、大榮まさ子、清水春子）▲さかみ海女（曾根田敏子）總おどり

御待兼の　東京落語　春風亭柳窓　喜劇花形　桔梗家吉右衛門　合同一行愈々今晩六時より開演　浪花館

本町一丁目 電九九七番　有樂 館改 喜樂館　當拾月十日より特別二大映畫提供　〇實寫『支那萬里の長城』　〇滑稽『春が來た』〇喜劇『成長努力』米國フエーマス、プレーヤース映畫　人情劇『潔き乙女』全五巻　名女優マーゲエリットクラーク嬢　説明辯士 石田旭花應援　黒い鐵の門恐ろしい靡の扉、ジヤンが感化院の一個年はどんなであつたか、けれども始めて知つた眞の心に生きた彼女は悲しさ男のものを得て多幸なる生活に入る　日活京都派特別大作雄編　尾上松之助扇太郎以下數百餘名出演　舊劇『義經一代記』六巻　『史上の英雄豪傑で最もドラマチックな生涯を送つた人物は義經であろうさしも大功を建てた義經も平泉の……』　吉野山狐忠信の件りより雪中決別の……

京城旭町 電話二六〇　浪花館　當る十一日より毎日午後六時開演　東京落語研究會幹部春風亭柳窓 桔梗家連合同一行　落語音曲 笑太郎　落語手踊 笑三　娘義太夫 桂枝丸　落語ステヽコ 桂竹登　娘義太夫 桂竹松　落語扇子踊 桂春松　人情噺 東昇　東京落語 三遊亭圓輔　桂枝三郎　大切喜劇 春風亭柳窓 桔梗家連

日本活動寫眞會社代理店　櫻井町 電話八七三　大正館　當る十月十一日より特殊大寫眞提供　◎喜劇『角力撲手大會』長尺　◎ニコ〳〵喜劇『人形使の夢』長尺　◎同『女中入用』長尺　伊太利パスクアリ會社特作　人情劇『海の彼方へ』全四巻　相愛の乙女と別れ阿弗利加に渡り勞力富を築き得て歸國せしが戀人は以外にも愛人が居り……　日活京都派最新大傑作　尾上松之助大合同劇　天下三大騒動　加賀の忠臣藏　全七段通し

朝鮮總督府遞信局　購買組合指定店　和洋書籍 雑誌販賣　京日代理部

糖尿病

新劑 ラシング錠 發見　糖尿病にて永年悲境に陷り種々なる療法を試みるも其甲斐なく又患者自身も全治し得ざるものと見做し適當なる療法を講せず徒らに死を早からしむの不幸をまねく事往々有り本病は從來衛生と適當なる藥物療法を施せば不治症に在らざる事を發見されたると同時に苦悶さるゝ患者を救濟する目的を以て彼の專門家の療法を比較し最も進歩せる新劑ラシング錠を創製す……

小夜衣草紙　目錄　▲小夜衣草紙　▲百手枕　▲戀の出雲　▲總の花染　▲男女川草紙

金屏風の男女が心意より甘き睦言を最も大膽に最も露骨に描き出した二度と手に入らぬ江戸人情好色本中の禁止販賣本　内容は云はぬが花……　▲近來類似の名稱を附し偽物を販賣し居る者多し乞御注意　五巻合本四六版總製本大和綴　振替か爲替なら密封送料共金一圓六拾錢切手代用は一割増　代金引換小包は金一圓八十錢　▲此には新聞名記入注文者に裸體美人密畫を進呈　振替東京四二一九　東京市神田區表猿樂町廿一番地　トモエ文庫

胃腸病に常用して下痢を止め……　ケンノウエキス　藥價 四十錢 六十錢 一圓 二圓　本舖 東洋藥房　京城若草町（新道路）

自動車

開祖東洋第一番の本校卒業生は運轉手技師販賣員として活動す　甲種運轉手養成　毎月入學 開始 其他技師科設計科 小學卒業程度 入學許可　東京自動車學校

ちんぞう炎　胃腸炎に特効の良藥あり　書にて照會あれば出張す　天龍堂

はら マリガ にカタ ラシンウ　出來又は子宮病子宮癌に方手術せず效能……　播州明石裁判所前西　湧泉堂

七日ツケタラ鏡をごらん色白くなる　ゲンシン液　……東京神田和泉橋……

優良化粧用　アカシヤ石鹸　ACACIA SOAP　大連　萬玉洋行

キット効く（五大博士實驗證明）高級婦人藥　母の命　女一代の衛生　笹岡省三藥房　振替東京二〇五〇番　藥價……

胃病ならイカイ胃散

登錄商標　健胃 イカイ胃散　衛生堂　胃弱症の特效劑

驚くべき藥効　イカイ胃散は一時的の消化藥にあらず、根本的に胃を強壯にし消化力を増進す、一度イカイ胃散を服用せば、胃に無限の爽快を覚ね、胃病に特有の不快の感は消失し、食慾と元氣は著しく増加すべし

定價十五錢、三十錢、五十錢、壹圓、貳圓　本舖 大阪市江戸堀 猪飼史郎藥房　全國藥店にあり

日本優等清酒　花木本家醸造　フクムスメ　特約販賣　京城 島屋本店販賣部　電話九〇三番・二三〇番

ロート目藥　井上博士ノ　ミナスイタマヌ　ズンぐトキク　目ニ見エテ

ソレコノ通り　比較は　病眼を不潔の手布等にて拭ふは目の爲に惡し故にロート目藥には（下圖の如き）消毒した布が添へてあります（全國各藥店に取次す）　品質の優劣良否を料斷する一番の早道であります、故にロート目藥と他の目藥とを比べ玉へ　本舖 東京市日本橋區本銀町三 山田安民藥房　發賣元 大阪市東區久寶寺町二 山田安民藥房

レート白粉

最も美くしい　お化粧の秘訣

申す迄もなく、お化粧を爲さるのは、美くしうならむが爲めで厶います。眞に美くしいお化粧をしやうと思へば第一にお化粧料の御選擇が肝腎で厶います。それにはレート白粉こそ、最も優れたお化粧料で他の品と違つて圖拔けて附り伸びの良いのは勿論、附けた白さに自然の艶があつて、お化粧晴れが、冴え〴〵して上品に奥床しう決してお化粧崩れなど致しません。これはレートの新製法と配伍てある新美容素が地肌から美くしくしてゆく作用を持つて居るから落附のある美くしいお化粧が然も、樂に自由に出來るので厶います。お化粧の秘訣は只一つ、優秀無二のレート白粉を御使用なさるのに限ります。

本舖 東京 平尾贊平商店

京城日報　第五版　(年中無休刊)

本紙定價　一箇月金… 發行兼編輯人　奥田… 印刷人　小川三之… 發行所　京城太平通一丁目 合資會社京城日報社

何か改造と謂ふ

ドクトル、オブ、フヰロソフヰー　長瀨鳳輔氏談

近來改造と云ふ言葉が頻りに世間に流行し始めた。曰く世界の改造、曰く日本改造、曰く社會改造、曰く何々改造と無暗矢鱈に用ひられ、化粧品や賣藥品の廣告までにも之を利用せられ、之を口にせざれば時代遲れの人間でもあるかのやうに思はれると云ふやうな有樣である。所が此の言葉も本來レコンストラクションと云ふ英語の直譯で、デモクラシーと同樣近來英國米國などに流行する所から我國の所謂識者思想家が例に依りて輸入したものに外ならない。是れは固より惡い事では無からう。兎に角大戰の結果種々の方面に於て改造を要するに至つたのであつて、特に歐洲の如きは今や事實に於て改造せられんとして居る。されば世人が之に向つて注意を拂ふやうになつたのは寧ろ喜ぶべき現象であると謂ふても可からう。

けれども改造と云ふ言葉は必ずしも改善を意味するとは限らない。時としては改造の結果却つて從來に比して改惡せらるゝものも尠くない。要するに改造なるものは事實に於て現狀打破であると同時に、少からず破壞性を帶びて居る。故にその破壞の方法にしてその宜しきを得なかつた場合には却つて毛を吹いて疵を求むるの愚を演ずるのである。例へば露國の革命のやうなもので、是れも確かに改造には相違ないが、その破壞の方法が大いに過つたが爲に、今日の如き收拾すべからざる混亂狀態を現出するに至つたのである。

又今回の世界大戰にしてもさうである。餘りにその政治が荒び過ぎた爲に、獨逸や墺匈國を破壞したのは可いとしても、露國迄も今日の如く手の下しやうもない支離滅裂の狀態に立至らしめたのは大なる失態で無くて何であらう。事實に於て歐洲は細幹化されたのであつて、戰前よりも却つて一層紛糾の度を加へ、幾多の禍根を將來に貽したのである。如何なる曲辯家と雖も今日の歐洲を以て戰前に比して著るしく改善せられたとは言へまい。否改惡せられたと云ふ方が寧ろ至當である。して見ると所謂歐洲の改造は是れ改善に非ずして改惡である。吾人は斯かる改惡的改造に向つて謳歌することが出來ない。それに、一體改造と云ふことは從來の積弊に大なる缺陷があるから已むを得ず起る所のものであつて、夫れが完全無缺のものであつたならば何も殊更に改造する必要が無い筈である。所が今回の歐洲の改造の如きも畢竟するに從來の歐洲が[illegible]良くなかつた結果である。よしや理想的に改善せられたにしても夫れは單に惡い所を改めただけのもので、消極的に過ぎない。謂はゞ唯病人が病から平癒しただけの事で、それから言ふて彼れが頑健な身體になつたかどうかは分らないと同樣である。然るに歐洲は快癒した所でなく寧ろ將來よりは病勢が重つたと謂ふても可いのである。」

歐洲戰亂に於ける我海軍の作戰行動(二)

鎮海要港部參謀　矢持大尉講演

大正四年に入り獨逸東洋艦隊の打ち殘されたものは中立港へ逃げ込んで武裝を解除し、敵は愈々東洋の海上に活動する兵力が無くなつて仕舞つたので、我が海軍は配備の方針を改め主力艦隊を帝國の沿岸に近いて戰爭の移り變りに備へ、同時に巡洋艦を基幹とする特務艦隊を以て聯合國と協同南洋方面の警戒に當らせた。大正五年になると敵が方針を變へて花々しく海戰をするよりも聯合國の通商を破壞すると云ふ方針を取出したとが判つて來た、英吉利では濠洲や新西蘭で養成した陸兵や物資を歐洲へ輸送するのに全力を盡して居た時だから其交通線が脅かされては堪らぬ、從つて我が特務艦隊の任務は一層重いものとなり、艦隊の勢力も大いに增加せられ、呂宋南方から印度洋にかけて廣大なる海面を受持つに至つた。大正五年の末になると敵の行り方は愈々惡辣となり專ら通商破壞を目的として手當り次第に所謂無警告擊沈で目茶苦茶な暴れ方を行り出し、聯合國も是にはホトホト閉口せざるを得なかつたので日本の巡洋艦の殆ど全部を特務艦隊に加へて必死となつて海上の安全を保つことに努めた。併し折角印度洋で商船を無事に護送してやつても地中海でばたばたにやられては何もならぬ。そこで英國の提議に依つて驅逐艦を基幹とする第二特務艦隊をば地中海に派遣して聯合與國の艦隊と協同作戰に從事せしめることになり、印度洋を警戒した特務艦隊は第一特務艦隊及び第三特務艦隊となつて、印度洋北岸から西は阿弗利加東岸南は濠洲南岸迄を受持つて活動し、歐洲戰爭の終るまで此の配備を持續したのである。所が又此の大戰中聯合國の一員たる露國に於て大革命が起り、大混亂を惹起して聯合側の作戰に少からざる影響を及ぼしたのみならず西伯利一帶が物騷になつて露領沿海州迄怪しくなつて來たので、大正七年の初頭日本艦隊の一部は居留民保護の爲沿海州方面に派遣せられた、其後露國過激派を利用して獨墺の勢力がだんだん東に延びて來る、日本は何うにかしなくてはならぬと云ふ時、聯合國間にチェック軍援助の議が持ち上り帝國の陸軍の一部を派遣することになつたので、是れと共に此の方面の海軍の勢力も增加し獨墺軍に對する新しい任務を以て露領沿海州方面に行動したのである。是れから各方面に分けて順次に說明しよう

生別死別

(不許無斷興行)　服部硯月

第廿一　死期

芳三郎はお春の運んで來た熱湯で搾つた手拭で顏を拭きながら、判事と井上との關係に就いて話を續けた。

『それが他の關係上隱密の結びを急いだ爲、四郎が彼の證據を發見したのを、貴郎に對して酷く憤慨の點に感ぜられ、井上探偵に頼み内々機密費まで支辨して、事の眞相を探る爲に腐心されたさうです、それで日外入獄で監室にゐたのも井上君で判事の注意に依り何等かの材料もがなと窺ふてゐたのださうです。』

『さうか、有り難い』

砥上は思ひ出したやうに

『オイ、佛間へ連れてッて呉れ』

『今でなくとも可いぢや御座いませんか』

『芳三郎君、今でなければ可かん、冤罪の雪けたのも全く先祖の加護だ、僕は壽命が縮まつても構はぬ、青天白日の身となる事を祈つた、もう何日死んでも遺憾はない、今日の仕儀を祖先の靈に告白する』

強ての希望に、爭ふ譯にも行かず、一同して佛間に運んだ。忠雄は起座る事も出來ず、臥床の儘默念に耽つた。はふり落つる涙は襟を潤した。

砥上は冤罪の略雪けるに到つたので、胸中の喜悦は譬ふるに物もない。併し此の喜悦は却つて神經を刺戟して興奮し、種々な[illegible]つた。之がなほ一二箇月も早かつたなら精神上の慰安となり、從つて營養も多少維持することが出來て、若干の死期を延ばし得しめたのであらう。けれども今日となつては衰へた砥上の身には精神上の苦痛の除却が最早度の進んだ機質的變化をまで挽回するの力がなかつた。

砥上は俄に心臟の鼓動を爛ね出した。都合よく芳賀博士は大學よりの歸途訪問した、さうして一同より一五一什を聞き取つた。

『誠に何と結構な事です、私共まで御同慶[illegible]』

博士は病人[illegible]た。餘程重大になつて[illegible]一は精神の興奮と一は動悸の爲めに。

『先生、もう覺悟してゐます。何事も思ひ殘す事はありません。併し井上の話に一兩日の内には結末が著くと云ふ事であつたが、せめては夫まで……』

折柄地方裁判所よりの使が來て一封の書を渡した。山田が取次いで渡すを砥上は受取つて開封すれば

『砥上忠雄に言渡すべき廉あれば明十六日午前八時當所刑事部法廷に出頭すべし。本人已むを得ざる事故ある時は代人に於て其の事故を證明すべき書類を攜行出頭すべし』

この意味である。受領印を捺して使者を返した。幸ひ博士が來てゐるので診斷證明書を調製して貰ひ、明日は芳三郎が代人として出頭する事に定めた。

博士の注意で老練な看護婦を傭ひ入れた。博士は一同皮下注射し、萬事の注意事項を看護婦に申し含めて辭去した。

更に病室に移すも身體動搖の虞があるので、病人を佛間に其儘に置く事にした。で葵と芍藥とを埋めた花氷塊を翳と共に佛間に運んで來た。旋風器は電線が次の間までしか屆かないので其處に置いた、併し病人が旋風器の響が耳障りになると云ふので丁度好い都合であつた。旋風器と氷塊と人力の及ぶ限りを盡しても、夏の旺盛りは凌ぐに途がない。まして衰弱しきつた砥上には一層暑氣がこたへるのである。

午後十時、病人の前額より胸部より、にぢみ出る脂汗を拭き拭き看護婦は博士の注意に依り胸部に注射した。

大隈侯主宰　大觀

佛國六大政客の雄篇

◇國際聯盟の前途如何　國際聯盟委員長ブルジョア
◇西伯利に日本は自由行動せよ　外務大臣ピション
◇戰後の財政と社會革命　前總理大臣リボー
◇日本を西洋に知らせよ…前外務大臣アノトー
◇過激派は社會主義の敵　社會黨首領トーマ
◇平和會議の内幕……某強國全權委員

■日獨同盟の臆說と倫敦宣言　評論家　石井菊次郎
■英國最近の政況と民情　在倫敦　中川大吉郎
■山東の『煙』を何と睹る……在青島　澁川玄耳
■山東問題に對する米國と我對策……某外交大官
■切迫せる刻下の生活問題……大隈侯爵
■世界の物價と我當局の怠慢　法學博士　小林丑三郎
■國際勞働會議と我國の立場
大隈侯座談■勞働代表委員詮衡
西侯と前後して　石川半山
平等要求の運動　及民　法學博士　存田和民
倫理上より見たる世界改造　早大教授　杉森孝次郎
トロツキーの得意　理學博士　遠藤吉三郎
(夢物語)生物界の均衡と自衛　理學博士　松村松年
邪道をまりつゝある我畫界
■日本畫の人々……津田青楓
文藝と社會…片上伸
此世の意志　長與善郎
感激…小川未明
家と彼　藤森成吉
獄屋より　古舘清太郎
借家騷ぎ…牛方俊郎
海の彼方……岡本綺堂
■文展の洋畫家……坂本繁二郎

價六十錢　郵稅　東京牛込市ヶ谷町九十三　大觀社　振替東京四〇九五六番

禪の力

前曹洞宗大學教頭　山田孝道師著

東京小石川原町　丙午出版社　振替一五八八六

禪は力也　其力能く苦く生死の牢關を透得し其力能く人世の運命を開拓し其力能く家庭の和樂を實現し其力能く…

增補縮刷　安心錄

文學博士　南條文雄先生著

南條博士の名著『安心錄』縮刷版出づ■博士は宗教界の宿老教義を布き教を垂るゝこと既に業に久し…以て速かに人生の歸趣を解せよ

▼本書は宗祖聖人の…眞宗の教義

發行所　東京本鄕元町二ノ廿二　中央出版社　振替東京五七八〇

民族と歷史

文學博士　喜田貞吉　東京小石川高田老松町　日本學術普及會　振替口座東京二八二六〇

十一月號　一日發行　一册郵稅共貳拾壹錢　半年壹圓拾六錢　壹年貳圓廿七錢

近世まで保存せられた家人奴婢の制度　王朝時代館に就て　高橋健自君　時勢と道德觀念　喜田博士　日本民族史の研究　長史名義考　隼人と特殊民

既に六箇年の有効實驗を經たる

酸素療器　オキシヘーラー

▽オキシヘーラーは會主前島震太郎の創製にして

▽邦文　支那文　實驗例說明書贈呈△

▼オキシヘーラーの効力顯著なる事は使用僅か五分間にして三乃至五mmの血壓を亢め一時間を繼續せば實に十乃至三十mmの活力を增進す試に血壓計、脈波計を以て驗せば其關節の狀を明にし各自は脈搏、呼吸、體溫の整調に依て自覺せらる

▼惡疾なる磁氣應用の本器は肺して血液中の酸素吸引力を增大し健康の元素を補ふが故に難治の疾病を根治するに空前の偉力を有す

▲是より諸般使用者は忽ち脈搏強實となり全身の溫暖、呼吸の深長を感じ次で熟睡、解熱、頭痛、食慾の亢進、兩便の快通等生理的本能を發揮するの神速なるは實に天下の奇蹟也

特色　一、使用法簡易効力永久不滅にして電池の如く消耗する物にあらざれば機械購入以外永遠に何等費用を不要

■正價金參拾五圓■　送料内地金參拾六錢　支、朝、臺、樺金六拾五錢

東京市牛込區簞笥町三十一番地　オキシヘーラー獎勵會　電話番町特長三〇七・四六八九番　振替東京二七七一二番

唯一無二の治療器也信用確立他の模倣を容さず

マホービン各種　京城　熊平支店　振替京城二二一番　電話六二二五番　三壹三四番

早稻田大學講義錄

各科　第一號出づ

政治經濟科　法律科　文學科　中學科　商業科

總長　大隈侯爵統裁

入學最好機

□經營卅有餘年
□學界一流の講師
□平易嶄新の講義
□大學學資金給與
□其他大特典提供

ハガキにて申込次第直に無料贈呈すべし　見本附規則書

入學金全免

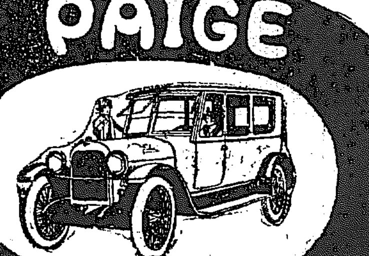
東京牛込　早稻田大學出版部　振替東京三三二五　電話牛込四七二　五四二

酒はサワカメ　品質第一　醸造元　大阪府堺市　宅合名會社

豫々瓶詰酒の時代出現

特長
一、純粹灘詰、藏元同味
一、衛生試驗所檢查證付
一、宿醉セズ頭ニ上ラズ
一、携帶至便　保存安全
一、使用簡素尤も經濟的

朝鮮各地ニ特約販賣店有之候


PAIGE　ページー

內外興業株式會社自動車部

自動車界の寵兒　ページ自動車

最も古き經驗を有し好評嘖々たる眞に信ずべき美麗なる自動車

本社　東京麴町有樂町一ノ五　電話本局(四)二一七一、三〇一八、三一五二、八四六

支社　大阪堂島仲一　神戸北長狹通　門司東本町

出張所　京城長谷川町　大連大山通

本店　京都市三條通リ

直輸出入商　株式會社　大澤商會

營業品中當支店ニテノ取扱品目(卸小賣共)

各種時計及貴金屬製品

貴婦人用裝身具、髮飾、寶玉石類
金銀製器具、銅器製置物類、ナイル萬年筆
時計部專用電話長二一六

各種寫眞機及諸材料品

乾板類　スタンレー　イルホード　各種　印畫紙　アヂニー　アゾー　各種新荷著
御待兼之二號ブロニールル八到著致シ候
寫眞部專用電話三三九番

各種自轉車及附屬品

船來ニュデコースター　船來オールトソールガスランプ
船來Aノレンチ　船來B.S.Aコースター
船來ハンドクラキソン　新規輸入在庫豐富
自轉車部專用電話長四八〇番

各日曜日休業仕候

株式會社　大澤商會京城支店　振替京城二三一番

支店　東京　大阪　神戸　上海　香港　[illegible]

米國 オ政府承認か

米國駐日代理大使の慫慂

ウオルドワシントン特派員情報に曰く米國は近々コルチャック政府を承認すべく思惟せらるモーリス駐日代理大使はオムスク政府を救はん爲め可及的同政府を承認するの必要あり若しオムスク政府が顚覆せんか西伯利亞全土は無政府狀態に陥るべしとワシントンに慫慂し來り米國がオムスク政府承認に依り西伯利亞派遣軍を要する無きも之に依りて今迄より一層早くオムスク政府に兵器を送るを得べきを以て克く有利の地位を占め得べし因に高官の間に於ては若しオムスク政府にして失敗せんかザバイカル以東に於てコルチャック軍を率ゐるセミヨノフ將軍の勢力を大ならしむべく然して日本軍はセミヨノフ軍と密接なる關係あるものなりと解し居れり(紐育電報)

最後通牒を發せん

獨逸の撤兵回答不滿足

最高會議はフラッシュ元帥に命ずるに獨逸に對し波羅的沿海諸州を至急撤退せん事を要求する最後通牒を作成せん事を以てせり蓋し本件に關し此程獨逸の發せる解答は聯合國に執り不滿足なるを以てなり(巴里特電)

佛國首相の辭意

クレマンソー氏は總選擧後に於て辭職すべき決意を有せる旨發表せり(巴里電報)

ウ氏益經過良好

大統領ウイルソン氏は益々快方に向ひ極めて安全に夜を過ごし再び公務を執らんことを焦慮しつゝあり(華盛頓電報)

朝鮮人取締懇請

小幡公使は九日外交部を訪ひ延吉方面に於ける朝鮮人取締を懇請せり陳次長は是を承諾し直ちに張巡閲使に打電訓令を爲したり(北京特電)

陸軍大演習擧行期

兵庫縣下に行はる可き陸軍大演習は十一月八日より十二日迄の五日間にて十三日大觀兵式大饗宴擧行の豫定なり(東京特電)

王代表張宴

王揖唐氏は十二日波頭公園にて懇親の爲め同地支那官憲紳商を招待饗宴する由官憲側は全部出席す可きも紳商側は出席覺束なしと(上海電報)

山縣公樞密院會議出席

山縣公は十一日小田原古稀庵より歸京し五番町の自邸に入れるが十三日樞密院講和條約審査委員會の審議續行に際しては自ら出席議長の職を執るべしと傳へらる(東京特電)

田中局長渡支

田中通商局長は近く北支那視察の途に上る由(東京電報)

特別會計豫算提出督促

各特別會計豫算は本年八月末迄に出揃へ充分査定する豫定なりしも未だ一件も提出を見ざる有樣なれば大藏當局は遲くも十一月中旬迄に出揃はす可く夫々督促を發せり(東京特電)

鐵道院局長更迭

今回左記辭令あり(東京特電)

任鐵道院理事(二等) 滿鐵囑託 井出繁三郎

神戸管理局長を命す

神戸管理局長 野村源三郎

鐵道院總裁官房勤務を命す

ス氏北京到著

西伯利鐵道顧問スチーブンス氏北京に到著せり(北京電報)

エリオット氏

駐日英國大使たる可きエリオット氏は十一日横濱發歸國せり來任は來春なりと(東京特電)

黒鉛工業計畫

咸鏡南道永興郡及び江原道江陵郡に於ける山下善三郎氏經營の黒鉛は夙に海外に聲價を高め年産額五千噸の盛況を以て逐年輸出倍加し來り今や朝鮮は世界的黒鉛鑛山として認めらるゝに至れり大戰後に於ける化學工業の勃發に伴ひ黒鉛の需用著しきものあるに鑑み今回同氏十年來經營の兩鑛區及び設備の全部を移して社會の事業と爲すこゝなり下關市東南部町拜崎商會主拜崎嘉氏専ら其衝に當り東京の安樂兼道大阪の三谷軌秀氏亦發起人中に加はり資本金三百萬圓の山下黒鉛工業株式會社を組織することゝなれり成立の上は本社を東京に置き支店及び工場を門司に設くる計畫にて旣に發起人贊成人の引受にて殆んど滿株の盛況を呈せるも現物出資其他有志の希望申込切なるものあるより此際幾分の公募を見るに至るべしと(下關支局)

佛大使晉京用向

駐日佛國大使バプスト氏は旣報の如く十一日朝發東上したるが同大使今回の北京行は何等外交上の用務ありしが爲めに非ず今より十三年前公使として北京駐在當時最愛の幼兒を失ひたる事あり乃ち令嬢を從へ墓參に赴きたる迄なりと或る人に語りたる由

西鮮殖鐵の目的

發起人總代 松平直平子談

十日附許可されたる西鮮殖産鐵道の設立趣旨につき發起人總代松平子は曰く今や朝鮮は鐵道の布設道路港灣の改修、航路の擴張及び水陸の連絡等交通の施設漸く進み國鐵の延長

壹千餘哩

に達し軌道輕鐵の布設亦各地に勃興し交通の便昔日の比に非らず然れども時勢の進運に伴ない尚幾多の改善急設を要すべきものあるを感ぜずんばあらず殊に時局以來急激なる物資需要の喚起は輸送力に著しく不足を來し從て物資分配の圓滑を缺き吾人生活上の壓迫を感ずるこゝ切實なるのみならず又事業振興の機運を挫折するの虞なきにあらず依つて之が缺陷を補ひ益國運の隆昌を期せんには輕鐵網の普及と共に之に附帶せる事業を發達せしむるを以て焦眉の急務となす今朝鮮中輕便鐵道の最も急設を要する黄海道に就て之を云はんに本道は面積一千二百三十餘方里を有し恰も九州の半に相當し京義線に依りて東西に分割せられ其の東部は山岳多く産物に乏しきも西部は稍半島形をなして黄海に突出し山河の形勢九州に酷似し古來農鑛物産を以て著名なるのみならず尚巨多の未開富源を包藏し西鮮第一の寶庫と稱せらる就中載寧平野十二萬町歩を最とし延白、甕津、翠野、竹川、公税里等多數の沃野を有し其間に介在せる山地も亦鑛産物に富み載寧安岳殷栗秀佳樂山等理鐵無盡の鑛山砂からず林業に至りては事拓經營の

二萬町歩

を始めとし各地に有望の山野多く諸處の未墾地約十萬町歩と併せて投資家を俟こと急なるが如し其他水産に牧畜に各種の産業亦發達の要素を備へ天惠の厚き他に多く其比を見ざる所なり本道人口百二十九萬の内約九十萬は此地方に於て之を占め人口比較的稠密に經濟の根據亦豐裕なるが故に一般に購買力に富み日用雜貨の集散夥しく大小各地の市場は毎市雜沓を極め取引頗る盛況を呈す殊に沙里院、載寧、安岳、翠野海州等の市場は最も大なるものにして一箇年の取引高三百萬圓を下らず輸移出入貨物の總價格に至りては實に一千五百萬圓を算せり尚此地方には信川、安岳松禾、馬山、文化、達泉等多くの溫泉の外長淵海岸の諸所には風景絶佳なる海水浴場の適地を有し西鮮唯一の遊覽地として推稱せらる本道の西部は此の如く大富源を藏し又既に經濟的事情の發達せるにも拘らずが交通狀況を顧みるときは甚だ幼稚にして幹線道路は沙里院より載寧を經て海州に至り更に延白を經て土城驛に連絡する線と載寧より信川、長淵に至り一は岐れて夢金浦に他は海州又は松禾に通ずる線及び載寧より安岳を經て北倉浦に達する線あるのみに過ぎず

旅客は其

の幹線道路の大部分に對し自動車の便を藉り得べきも貨物は牛車に據るの外なく沿岸及び安岳、載寧の一部大同江の本支流に沿ひたる地方は水運の便ありと雖も港灣の設備なく常に潮水の干満に支配せられ其の効果の鮮少なるのみならず冬期は全く結氷し交通杜絶するを以て運賃の不廉を免かず且商機を逸する不利の狀態にありて地方經濟上に及ぼす影響甚大なるものあり是に於て予等は上述各種の事情を考覈し輕鐵布設の急務にして且最も有望なるこゝを感じ先づ既設三菱銀山面鐵道を買收し尚ほ經濟線として沙里院を起點とし載寧、信川、安岳を經て鎭南浦の對岸北倉浦に至る線、信川より梨木、竹川、翠野を經て海州に至り更に龍塘浦に達する線、梨木、長淵に至る線及び既設三菱銀山面鐵道石灘驛より分岐し新院を經て海州に至る線の四線を選び終點猪島及び龍塘浦には水陸の聯絡船舶の出入を便ならしむべき臨港設備を完成し輕鐵輸送業を營むの外に之が利用に依る沿道の自的開發を以て足れりとせず更に拓殖事業の經營に將ゆ以て益々地方開發の程度を促進せしめんこと欲す本計畫の遂行に對して特に國有未墾地數千町歩及び東洋拓殖株式會社に於ても亦道各種の利源調査に着手せらる計畫に對し多大の援助を與ゆることなり居るのみならず

輕鐵事業

に對しては局より配當補給の特典を與へらるべきを以て同社の創業は頗る確實安全なる基礎の上に立脚するものにして將來の發展期して俟つべきは勿論開業初年より相當の配當を爲すに難からず之を要するに本事業は地方多年の要望にして民間緊切の業たるに止まらず一面に於て國家的事業たる茲に計畫を成るや朝鮮總督府亦大いに此擧を贊せられ直ちに會社設立の許可を與へられたるものなり惟ふに拓殖事業の併營こは殖民的經營の本領にして相俟るべからざるものなり斯くて本事業の發展は地方富力の增進に伴ひ前途益々好望なりこ言はざるを得ず云々

全鮮商議聯合會

第二日=鮮鐵運賃引上問題

十一日午後一時半より第三日の全鮮商業會議所聯合會開催當路よりは神田水産課長三井農業技師等及滿鐵の久保管理局長安藤運輸課長列席各會議所代表者側にては群山松本氏を除き全員出席し當路の臨席を機とし十日の會議に於て決議を延期せる

議案第十三號棉花販賣に關する各道の施設は之を撤廢せしめられんことを朝鮮總督府に要望の件(木浦提出)

の討議に入り木浦木村氏提案理由を說明し棉作組合より商人の手に渡る間に於ける保護的干涉は却つて弊害の伴なふことを縷述す右に對し三井農業技師は今後總督府の方針として相當考慮を加ふる所あらんも木村氏の說く所販賣方法に關してのみなりこも看じ難き點あり旁暇に本案の撤廢こあるを改善こ改めたりこして方策を聞かんとを求めたるに木村氏は何れ詳木の上當業者こ相會して協議同答せんここを答へ群山谷垣氏より陸地棉普及の程度在來種こ陸地棉混種の有無等に就て質疑し三井技師より夫れ〳〵詳說あり結局本件は研究事項として次回決議のこここに決す

夫より本日の日程に入り

第十九號議案朝鮮鐵道運賃引上の議に對し反對意見を當局に提出の件(釜山提出)

釜山水野氏花輪氏提案理由を說明し反對意見の字句の穩當を缺くを謝する所あり次いで元山本岡氏當路の意見を求め之に對し久保管理局長は大要左の諸演をなしたり

余は此の席上に於て親しく所見を開陳するの機會を得たるを欣幸とす各位が平素鐵道に對し深甚なる御同情を寄せらるゝを感謝すると同時に一面運輸機關の不備を嘆る、所なり吾が鐵道事業は戰後財界の好況に際し他方に止むなき物價の昂騰により其經營上誠に痛切に且つ破綻に其影響を蒙りながらも大正七年度迄は尚ほ相當會社の利益を擧げ得たるも大正八年度に至つては持越品も大體使用し新たに購入の石炭、枕木其の他の用品一として騰貴ならざるなく數箇月前に於ける豫想に因れば總督府への納入金を控除せば百萬圓の損失を見ざる可からざるに至れり之が難境切拔け策としては收入の增加を計るは最も容易にして又其策としては拙策なり何こなれば

鐵道本來の精神よりも又滿鐵の使命たる運輸の便を計る點よりしても更に自己の所信としても總しの點に於て低廉なるを以て理想こ信ずればなり故に先づ運賃の引上をなす以前に於て會社當然の責務こして鐵道經營に要する諸經費の節約を感じ數箇月前に於て試みに一割大引の腹案を策したるともあり世上滯貨に對する非難中には運賃を引上げて之を捕捉すれば可ならずやの聲あるもさすれば運賃に或程度の影響を及ぼし又其結果として今日に至りたるも次第なり然るに近は世界的に勞働問題の聲喧しきあり旁鐵道の如き一日も公益機關として運轉を中止し能はざるものは殊に此の點に顧慮を要するものあり物價騰貴の結果增給其他にて給與問題に關し發くべき數字を示したり然して會社は損得の如何に拘らず朝鮮鐵道に對し總督府の納入金及年額四十萬圓の工事補充費合計百萬圓は支辨せざるべからず以上の理由にて滿鐵會社は全體こして經營難に立ち到りたり其究極する所は公平に社會一般が此の損失を分擔するより外なきに至れり實に今回の鮮鐵の運賃引上げは止むを得ざるに出で來るなり而して旅客運賃は目下人心動搖の際にてもあり旁之を避け其他生活必需品も其引上げをなさざる事こしたり而して此引上を實行したる結果運送の圓滑を實現し得るや此點最も苦慮する所なり

次で安藤運輸課長は先づ改正の要點たる長距離運賃の引上、最低の廢止、積極の開始、最低哩の制定生活直接必需品に對する引上げなき事等を掲げ各項目に亘りて詳細なる說明あり次に釜山水野氏は前記の非を言ひ且つ一億萬圓にて鮮鐵を政府より滿鐵に引受るゝと云ふ說の眞否を質し久保局長唯今の所此種の交渉をなさずと答へ次に釜山水野氏花輪氏より局長の談中百萬圓の損失を云々こありたるが之は總督府納金其他支辨金額に該當す斯る鐵道經營根本問題を先づ以て改定するの必要を認むと說き大邱増田氏より京釜線二等客車の增結を元山岡本氏より著手數料廢止を仁川岡本氏より機關車購入の題目に就て答ふる所あり安藤課長一々之に答へ更に鮮內滯貨の現狀に及び滿鐵の材木鎭南浦仁川の倉庫が主なるものにて其輸送に就ては滿鐵より機關車を都合して近く一掃する旨を述べたり議長は本案の否を起立に問ひ多數決にて本案否當路の臨席を機とし日程を變更し

第二十四號汽車汽船內又鐵道構內若くは稅關構內等に於て頻發の貨物の拔取に嚴重の取締ありたき旨關係各方面に要望の件(群山提出)

附議し異議なく可決

本件大橋氏時間切迫の爲め議事說明省略を提議す時に三時三十分是より

第二十號試驗場及附屬水産教育機關設置要望の件(釜山提出)

附議に神田水産課長より許す限り沿海地方を選み之を說明あり原案可決

第二十一號議案勞働使役上支那苦力輸入を開放され度きことを要望の件(釜山提出)

第二十三號稅制に關する調査會を組織し廣く民間の意見を徵せられんことを當局に要望の件(元山提出)

は商工業に關する重要なる稅制の新設改廢に關し可成商業會議所の意見を徵してこ修正し可決

第二十五號市街地工場區域の設定は特別なる地方を除く外之を當分中止せられんことを當局に要望する事(群山提出)

原案可決

第二十六號議案當聯合會の決議に依り要望又は交渉したる事項にして未だ其目的を達せざるものに就て必要こ認むるものを選擇し重ねて之を要望又は交渉する事

本案に關し京城大村氏より關釜聯絡船の滿鐵移管に關し質疑し安藤課長之に答へ仁川岡本氏の不合格大豆の道外搬出に關し質疑し三井技師之に答へ時に定刻四時を過ぐる十五分依つて會議初頭の決議により釜山提出案の特定運賃及び火災保險の二件は既に自然討議權の消滅に歸したるものとし議長は閉會の辭を述べ後總督府に交渉せる實行委員の報告ありて散會せり

全鮮記者大會

=第二日=

全鮮記者大會の第二日は午前は各自の自由行動を取り午後二時より總督官邸に催されたる茶話會に列席したるが既記の如く齋藤總督水野政務總監以下各局部長並に記者側出席者三十五名應接室に集合最初記者側より各種の腹藏無き陳述あり次に總督赤池局長の說明ありて相互了解を得て大いに得る處あり終つて食堂に於て茶菓の饗應あり散會したるは午後五時半なりき

特別評議員

京城商業會議所特別評議員 九日附にて京城仁川兩商業會議所特別評議員に左記の諸氏任命されたり

任京城商業會議所特別評議員 子爵 松平直平

川上常郎

免京城商業會議所特別評議員 平井三男

松崎彦一

張錫佑

任仁川商業會議所特別評議員

赤池局長出張

赤池警務局長は防疫施設視察の爲め十二日朝出發平壤に向ふ可し

訂正

滿洲學事視察團は二十三日京城出發の豫定なりしも右團員は二十二日夕迄に新義州に集合し又第四部主任は京城工業專門學校教授高橋秤吉氏の誤に付き訂正す

人事消息

▲中村與資平氏(工學士鮮銀囑託) 往復二日間の豫定にて十一日夜大連へ

▲亥角仲藏氏(全南道知事) 十一日夜入城巴城館へ

▲篠田治策氏(平南道知事) 十一日夜入城不知火へ

▲小西春雄氏(鮮銀奉天支店長) 十一日夜入城不知火へ

▲張憲植氏(忠北道知事) 十一日夜入城天眞樓へ

▲飯尾藤二郎氏(平北道知事) 十一日夜入城浦尾へ

鳥瞰錄

▲例年總督官邸で行はれる三大祝日の受賀式には必ず大禮服でなければならなかつたものだが十月三十一日の天長節祝日からは服裝はフロックコート黑山高帽子以上ならば何でもよいと許になつたのは幾程か砕けて見るがまだ紋付羽織袴を認めぬ中は五十歩百歩だと云ふ者がある▲和田鐵道部監理課長は昨日突然病氣保養の爲めと稱し內地へ歸つて了つた何でも今度の滿鐵運賃値上問題や何や彼で氏の意見が用ひられず男一匹顏が立たぬと辭表を投げ出して飛び出したものらしい▲某氏曰く和田君と云へば總督府に於ける所謂鐵道行政通で前鐵道局時代から實際局長以上に切り廻したもの丈仕事も出來頭も好し從つて自ら信ずる事の極めて篤い男で一旦云ひ出したら所謂安價の妥協の出來ぬ氣性だがそこは君の長所でもあり又短所でもある今度の事も此氣性が禍したものだらう▲本年の旱害對策として臨時救濟委員會の設置せらるゝや何でも今度の新幹部はウンと金を出す相だと云ふ處から地方では此際救濟されずんばある可からずと我も〳〵と一面は郡に郡は道に道は總督府にと陳情委員を派するのでお蔭で委員會大繁昌はよいが底を割つて見ればそれほど出さうにも無いので陳情委員オヤ〳〵の體である

京日案內

普通 一回前金 番外 一回前金 (二十錢增) ▲申込後中途掲載中止は料金不返却 ▲六回以上の申込は特に壹割引 ▲照會は返信附に非ざれば回答せず

▲古本熱心高價買入 ▲是非御試買を乞ふ ▲御報參上 電話三一九五番 ▲本町二丁目 群書堂

店員入用 十五歳以上十八歳位迄 希望者は來店但市內要保證人 本町二ノ一〇番地 宮林商店

乳母入用 但御預け致してもよし 京城太平通二丁目四五番地 電話六九八番 更科支店

女子 裁縫見習入用 年齡十四五歳以上の者 旭町三ノ一三 三越裏通 早瀨

男女 集金人採用 履歴書持參 午前中本人來談 京城永樂町二 愛國生命出張所

人力車輪新荷著 澤十二吋二吋 ゲージ當時六分丸 吉野町一丁目 電話一五一六 永德商會

年金恩給 長期低利日歩 祭日ヲ不問 金融御立替可致候 ▲京城永樂町二 西本願寺表門下角 江州屋本店

讓店 本町目拔の場所 但居拔の儘 (姓名在社)

御袴專門 仕立入念◎期日正確◎價格低廉 京城本町四 山崎袴店

有價證券 現物賣買 京城黃金町二丁目 東亞株式店 電話二一四〇三(發電トヌトカ) (受電ケイジヨウトカフ)

▲雇員採用 高等小學卒業程度以上の男子又は女子年齡廿五歳迄希望者は履歴書持參本人來社あれ 南大門通り壹 朝鮮郵船會社

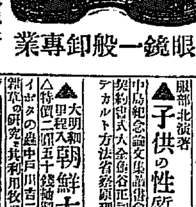
內地人女子 三十歳迄 募集 年給 初任日收十五六回乃至十七八回 龍山 總督府印刷所

春川原州 忠州 堤川 利川 其他地方行貨物運搬引越荷物荷造運送 京城東大門內 電話二〇四八番 酒井運送店

活動寫眞機械 フィルム并に種取寫眞機附屬品 有價却す 御希望の方は仁義洞 東亞煙草株式會社へ

自動車 フォード中古車 右至急讓渡す 幌一臺箱一臺 京城永樂町二 電話一二四七 榮洋行

時計 寶石 販賣 製作 仁川本町 谷商店



眼鏡一般卸專業 月刊定價表御申越次第進呈 大阪市南區清水町 谷本郡二商店 振替大阪三九五一九番

京城ニ 自動車講習所開設 十月十五日開始 二ケ月卒業

▼全學資金百三十二圓前納スレバ何人モ入學ガ出來ル ▼此學資金ハ內地ニ遊學スル旅費ニ過ギヌ

教授ノ方法 規則書 東京自動車學校 京城講習所 京城府黃金町三丁目角 振替口座京城七一八八番

致富秘訣 金を殖やす法 (無代進呈)

最新刊 書名 著者 定價 送料

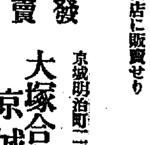
▲西伯利亞二班 朝鮮滿洲社編

▲須磨子 菊池幽芳著

▲子供の性質 服部北溟著

▲大朝鮮地圖

大阪屋號 京城本町一 電話六四番 振替京城二五七番

醇美清酒  金露 ●到る處酒店雜貨店に販賣せり ●滿鮮支店所在地 釜山、平壤、安東縣、大連 發賣元 大塚合名會社 京城支店 京城明治町一丁目 電話四〇 振貯京城五七

御披露 中秋之候各位益々御清榮奉慶賀候陳は弊店先日來休業中の處今般私事引受營業致す事に相成設備萬端相整へ一層勉強仕候間續々御來駕待居申候 尙すき燒其他御好に應し可申候 西洋御料理 京城櫻井町一丁目 サツポロバー 高橋さつ

ラヂウム製劑 ラヂウム絆創膏 適應症=リウマチス、神經痛、腰痛、肩凝、凍傷其他疼痛諸症 ラヂウム壓定布 (ラヂオ・コンプレッセ) 右絆創膏適應症并に肋膜炎、腹膜炎等に卓効あり 東京市京橋區中橋廣小路町 ラヂウム製藥株式會社 京都出張所

資本金 貳千貳百七拾萬圓 積立金 壹千六百貳拾萬圓 總預金 參億五千萬圓 株式會社 第一銀行 京城支店 頭取 佐々木勇之助 支配人 竹村利三郎

聖旨の存する所
馬事思想の皷吹
一朝有事の際馬匹が足らぬ
宮地師團副官の談

馬を以て戰爭のみの用となす可からず平時の產業上にも最も必要である我朝鮮は既に幸ひに世界に誇るべき大牛あり之するも道路の開通と共に馬の需用は年と共に附加し過般來の騰馬適分の際無く可き價格を以て賣却されたるに觀ても明かである。內地に於ては四十三年より馬匹改良に着手し十五年を以て第一期とし今や全國約二十箇所に近き種馬所を設け盛んに改善を圖つてゐるが我朝鮮は大陸に國境を有し一朝有事の際第一に馬の提供を要すべき位置にありながら未だ牧場が三四を出でぬとは遺憾千萬である素より飼料其他經濟上未だ其の機運に至らざるにせよ今一層民間の需用を喚め且其の需用者を保護し之が增殖を圖るを必要と信ずる。馬事思想鼓吹の先覺者として京城乘馬倶樂部が幾多の障碍を排して今日に及べるは吾人の日夜感謝措く能はざる處時に自馬を愛蓄せる同倶樂部諸君の熱誠に對し深厚の謝意を拂はねばならぬ寒暑室外の散策を喜ばざるの節吾人職に馬を愛する者さへも往々にして騎乘を厭ふの時諸君の馬上の雄姿を見て誰か敬意を拂はざるものあらんや此意味に於て我京城の紳士が成る可く多數乘馬に嗜み休日の郊外は騎乘の群を見るの風を遂び度いものである今や鈴木長官去り樋口香椎君亦病み乘馬界多少寂寞を感ず然れども猶且飯泉幹太中村興資平氏等一騎當千の士寥々たり願はくば諸君の健康を祈ると共に一層の奮發を切望して馬事思想の向上を廣く官僚に於ては昨冬入營せる乘馬隊の兵卒に就て調査せる結果入營前馬に手を觸れたる事なきもの七割五分に達したと云ふ斯る民情なればこそ今の西伯利派遣の馬匹は長途の輸送中其の管理に無頓着なるが爲多數の廢馬を生じたるは吾人の親しく目擊せるところ洵に痛に堪へぬのである京城倶樂部會員諸君茲に見る處あり本年十月一日競馬會を催し馬事思想の宣傳を企圖せられたるに拘らず時局の爲め中止せられたるは遺憾千萬である明年の季早々捲土重來の壯擧に出でん事を切望する尚ほ本年春陽の候在京陸軍士官七十四名の馬術を吹上御苑の御馬場に於て四日間に亘り天覽あらせられたり、聖旨の存するところ申すも恐かしなり吾人は官民一致馬事思想の鼓吹に勉めねばならぬ（記者曰昨紙上誤字あり左の通訂正す『我國の出征者を二百五十萬とせば馬は九十萬頭（卅六パーセント）を要する然るに內地產馬總數は現在約百七十萬頭にして其內より出動に取り得る檢査合格率（約七割）を見込めば徵發し得る者は約七十萬頭である故に二十萬の不足を生ずる云々』又（日露戰役に）の頃五ヶ年とあるは五十箇年の誤り）

咸鏡南部線は略復舊

去四日來の水害に依り元山咸興間復舊工事は元山黑波事務所に於て極力工事勵中なるが既に二三箇所の被害箇所復舊し尚ほ山德源兩驛間に於ける被害一箇所目下應急處置中なるが多分十二日頃全部終了列車運行に至るべしと

十一日西氷庫附近に於て擧行せる龍山工兵隊の爆破演習

任重し、亞米利加指して
晴れの舞臺へ
華々しく乘出した勞働代表者一行
味ひ行る桝本氏、孝子女史は婦人連に見送で雜沓した東京驛

十日午前八時には桝本卯平氏九時には田中孝子女史、午後一時には鎌田武藤兩代表其の他出發すべきに依り東京驛は早朝より混雜を呈したるが桝本氏の出發に就ては何事かあらんと

彌次馬連 友愛會等より東京驛に詰かけ桝本氏の來るを今かく\待ち居たるに八時に至るも八時二十分に至るも其姿を見せず東京驛にては八時二十分臨時列車を用意したるに拘らず桝本氏は遂に來らず果ては

行方不明 等の說出でたるが孰ぞ知らん桝本氏は其の筋の注意に依り前夜より既に品川に赴き居りたるものにして桝本氏に出し拔かれたる床次鐵道總裁代理其の他の見送人は馬鹿々々しげに引取る

友愛會一 派は桝本氏の行動をも怪し得ず憤慨を晴らさん爲白紙に『桝本思ひ直せ政府を倒せ』と記したるものを五六名が撒き散らしたるのみなりき東京驛內外に各署より多數の

角袖を配 したるも制服の巡査は一人も姿を見せず九時十分田中孝子女史出發するが桝本氏の出發時刻とは打つて變つて優しく美しく婦人連を以て驛頭を埋められ華やかに出發し午後一時半鎌田武藤兩代表一行の出發あり

原首相山 本內相其他各大臣澁澤男爵山東京商業會議所會頭其他實業家數百名の見送りありて盛大なる見送裡に一行は

伏見丸に 乘込み三代表の一行及び見送りの人々と共に食堂に入り一同祝盃を擧げたる後定刻三時と云ふに伏見丸は悠々解纜したり（東京電話）

丁種勤務演習
各部隊に普及研究

第二十師團司令部に於ける經理部軍醫部獸醫部の丁種勤務演習は十日午前八時半より各部每に召集されたるが應召經理部十四名軍醫部十六名獸醫部四名にして經理部に於ては芝田經理部長の目的を述べ歐洲戰爭の實驗より得たる休養上の敎訓、二後方連絡に就て等講演し軍醫部にありては早川軍醫部長の衞生勤務西伯利戰の狀況並に敵の使用したる兵器の種類並びに負傷者の狀況防寒被服と凍傷の狀況特種砲彈の種類毒瓦斯彈及び治療法中毒患者處置及び治療法標本を示して講演し獸醫部にありては詠村獸醫部長馬匹徵發業務の分課獸醫として必要なる事項業務遂行と師團司令部との連絡の必要なる所以等に就き講演し午後より實馬の調理診斷を行ひ各部共種々實習を課せられたるが當日步兵第七十九聯隊にても四十三名工兵隊にても十四名召集し講話其他ありたり

六人組强盜嫌疑者捕はる

全南寶城郡に於ける六人組の强盜犯人の有力なる嫌疑者一名九日管內長城警察署の手に逮捕されたり（光州特電）

全南に降雹

六日午後三時全南麗光郡に降雹あり農作被害は輕微なり（光州特電）

不謹愼なる騒擾學生等
百五十餘名騷擾學生等の公判は十一日地方法院で

係は都野川事件の田中部長山澤檢事

三月一日パコタ公園で騷擾をやつた學生の萬歲組に對する豫審終結は過般本紙に記載したが其公判が十一日午前九時から地方法院第七號廷で開廷された裁判は都野川事件で有名な田中部長山澤檢事の係で開廷された百五十名もある被告だけにさしもに

廣い七號廷 も滿員で傍聽者の立錐の餘地もなかつた被告百餘の中にはうら若い朝鮮婦人が二名ゐて水色の緋一點の觀があつた田中裁判長は懇切に被告一名々々を取調べてゐた被告の總ては京城高等普通學校などの學生ばかりで裁判長が何故騒擾をしたか又今後騒擾をやるかと問ふに對し利益になると思つたから騒いだと答へやるかやらぬか今後は分からぬと答へるものが大部分で將來は必ずやらぬとキッパリした答へをした被告は一人しか聞かなかつた中でも李秉王と云ふ女學生は昂然と肩をそやかし『我等は騒擾をやつたのではない

時代思潮に 從つて朝鮮の自立を希ひ其運動をやつた……』と三言目に答へた田中裁判長は保安法違反として來將の決心を犯すのである旨を懇篤に諭して取調は午後迄も續けられたが傍聽席には學校關係の四五の外國人が熱心に聞き入つてゐた

本町管內
秋季淸潔法は
十月廿日から

本町署管內秋季淸潔法施行日割豫定は左の如く決定發表したるが萬一當日雨天の際には十月卅日以後に順次繰下げ施行する由 十月二十日は吉野町一二丁目及古市町▲二十一日は南大門通五丁目、御成町、蓬萊町一丁目、南大門通四丁目、南米倉町▲二十二日は本町一二丁目、旭町二三丁目、南山町一二丁目、明治町二丁目、旭町二丁目、南大門二丁目▲二十三日は永樂町二丁目、若草町、本町三丁目倭城臺、日の出町、番町、南山町一丁目、▲二十四日は本町四丁目櫻井町二三丁目、大和町二三丁目▲二十五日は壽町、本町五丁目、並木町、黃金町、西四軒町、西四軒町、光熙町二丁目▲二十六日は黃金町四丁目及三丁目一部、林町、花園町、初音町、古橋町、吉山町、黃金町五丁目▲二十七日は水標町、笠井町、黃金町二丁目及三丁目の一部、三角町、水下町、茶屋町、仁橋町▲二十八日は長谷川町、北米倉町、太平通二丁目、西小門町、太平通一丁目、武德町、貞洞、黃金町一丁目の一部▲二十九日は和泉町、義州通一二丁目、蛤洞、漢芹洞、中林洞、蓬萊町一二三四丁目、西界洞

徒步競走　東大門小學校の運動會

少年少女の樂しい一日
府內三小學校の大運動會

秋晴の絕好な運動會日和であつた十一日は府內の三小學校が一齊に秋季大運動會を擧行した東大門、南大門、龍山の各校共午前九時から開始され力瘤の入つた

少年少女の體操に遊 戲に競走に番組を追ふて進められ一日中歡呼と喝采が湧いてゐた東大門小學校では校前の訓練された廣場に立派な會場を造つて擧行し黃金町の晴樂隊が會場の一隅にあつて絕えず壯快な遊戲に興を添へてゐた高い澄んだ秋空の下で運動場を圍んだ二千に近い兒童の父兄や觀衆は芝生の上に或は坐り或は立つて熱心に見入つて番組の一つくに熱狂のような拍手喝采が湧いてゐた紅白兩方の勝敗の際に兒童一同が歡呼の聲を高く秋空に響かせてゐた可憐な尋常科一二年男女生の綱引が先づ當日第一の番組で續いて種々な競技體操が順序よく進められ午後の番組を終つたのは午後四時過であつた地味な運動會であつたが氣合の入つたものであつたのと最後迄會場は整然たるものであつたのに感心した。南大門小學校でも同校に午前九時から開いた運動會は近來の校庭で盛大に催したが東大門校に較べると會場も狹隘な關係もあつたが甚だ不整頓であつたよう感じた殊に兒童も非常な人出で混雜は人で埋まつてゐた、ワーくと云ふ歡呼の聲が漲くばかり面白おかしく秋の一日は暮れて待らに待つた運動會だけに父兄の兒童も一日面白く遂つて大喜びで校門を辭した、其時々した顏に秋の入日が赤く映つてゐた

車に觸る

十日午後五時頃鍾路通光熙門行電車西二十號が黃金町四丁目八十三番地先黃金町前を進行中若草町八十三番地佐藤瑞之助方雇人金萬順二ゐが該電車の前を橫切らんとしたるが過つて腰部に觸れ顏面及び右膝に打撲擦過傷を負ひたるより直ちに京城病院にて手當を加へたるが全治までには四日間を要すべしと因に該電車は百二十號は八日南大門通五丁目にて鮮女を轢殺したるものにて又々斯の如き事故を生ぜしめしものなりと

捨兒名は金玉鄕

七日午前一時頃鍾路五丁目百六十番地の顯照方の表門內にあつて頻りに小供の泣き聲がするの家人は不審に思ひ乍ら起き出でゝ見たるに生後二箇月許りの男兒の捨兒あり傍には金玉鄕九日十五日生と記したる紙片を置き去りたれば驚いて同署に屆け出でたるが原因は八月早々貧窮の爲め一寸くくも該小供は奇にも金踊隊が引き取りたり

自轉車を盜んで遊興

府町二丁目一〇組方鈴木六郎（二七）は九月三十日午前中同崎町七十一番地精米所前商清太郎の雇人が南大門通五丁目朝鮮銀行支店前に自轉車價格百二十圓を立掛け置きたる僅內に入りたる隙を窺ひ之を竊取逃走し該自轉車は本町二丁目某立自轉車店に山某と僞稱入質し其の金にて新町遊廓に登樓遊興に耽りたる後發覺を恐れて黃金町二丁目某飲食店に潛伏中なりしを本町署の手に逮捕され取調中の處中々强情にて係官を手古摺らせたる上稍終に右の事實を自白し十一日檢事局に送らる

地金が出て

府內漢江洞二百七十三番地鄭尙之方に雇はれ中初めの內は神妙に勤め居たるが尻の温まるに連れて地金を現はし八月十八人の隙を窺ひ兩側の時計一個價格四十圓を竊み取り十番地徐興龍方に賣却し何喰はぬ顏してゐたるが遂に本月七日右の事實發覺本町署に檢擧取調中なりしが八日局に送られたり

金ピンの祟り

府內桃井洞十四番地吳永五（二五）は九月下旬十九日頃南大門通義洞四十番地銀房李戰雨より眞珠入り金ピン價格三十七圓の賣却方を依賴されたるを奇貨として鍾路四丁目五番地金銀細工業李鳳方に質却し其代金を橫領消費したるが惡事露顯し引致され取調中なりしが八日局に送られたり

府廳から蠅取紙を無料で

京城府廳に於ては蠅驅除奬勵の爲め近く鮮人經營の料理店及び牛肉店に蠅取紙を無料にて配付す可しと

講演會

京城青年會主催にては十一日午後七時半より長谷川町銀行集會所に於て『世界の大勢と吾人の對鮮人態度』山縣五十雄氏の講演ありたり

馬を拾ふ

龍山漢江通十三番地青木喜一郎は六日夜九時過ぎ自宅附近畑中に一匹の馬のうろつくを發見取押へ龍山署に訴へ出でたるが七日朝に至り二村洞三百三番地金銀在より內地產牡馬一頭落しましたと訴へ出でたり

龍山十日會盛況

龍山十日會は例會を兼ね矢野憲兵分隊長の送別會を十日午後六時より鍾籠山新玉樓大廣間にて開催したるが會するもの百名餘會人を代表し石原氏の挨拶大村氏の送別の辭辭に對する矢野氏の答辭あり主客歡を交へ午後十時散會したるが近頃の盛會にて大野軍參謀長も亦列席したり

運動界

滿俱大捷原因
岸投手の怪腕に依る

朝鮮選手の東上を望む南洲倶樂部は既電の如く九月早稻田グラウンドにて十三プラスアルファー對二の大スコーアを以て法政大學を慘敗せしめたるが岸投手の怪腕良く敵の打擊を封じ大門が三壘打二壘打一本を出したるを初め打擊大いに振ひ元氣敵を呑み滿洲健兒の氣勢を擧けたるものにして今後ミチームとの試合は非常の興味を以て迎へ居る朝鮮代表選手の東上を望むもの多し（東京特電）

タンセキ改良新劑

油斷大敵
今がタンセキ流行の時
せきを鎭め痰を袪り
根本的に呼吸器を
健全にする本劑を服用せられよ

タンセキ賞劑 呼吸器散
丸藥に呼吸器丸あり

主效
肺病のたんせき
喘息のたんせき
咽喉はれいたみ
小兒のたんせき
老人のたんせき
胸痛み息苦しく
喀痰出で易く
胸苦しを和らげ
夜間安眠の効を奏す。

タンセキに罹つた時
寒い風や塵芥を避け、高い聲を出す事や飲酒喫煙を愼み、寒い時は濕氣なき溫き部屋に濕布を巻き、呼吸器散を連用すれば不思議に輕快となる。又發熱の場合は大人は丹平製劑の蛇印アンチピリン丸小兒は專門解熱散オイ、ンを使用あれ

藥價 十錢、廿五錢、五十錢、一圓廿錢
本舖 大阪 東京 丹平商會藥房
全國各藥店に取次す

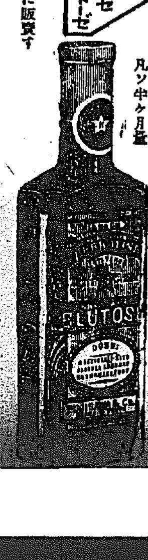
正しき補血强壯增進劑

ブルトーゼ

△帝國大學病院各府縣立病院御採用▽

種類
ブルトーゼ
キナブルトーゼ
ヨードブルトーゼ
アルゼンブルトーゼ
グリセロフォスフアートブルトーゼ

說明書進呈
各地有名藥店に販賣す



各種共二五〇瓦瓶入
凡ソ中ヶ月量

舛山醫學博士阪井藥學博士堀內ドクトル郡葉ドクトル實驗推奬
▲本劑は人體肝臟中に含まるゝ蛋白鐵化合物と同性同態にして容易く吸收同化せられ造血機能並に榮養上に强力なる作用を發し食慾を進め精力を盛んにす
▲本劑は貧血性諸疾患並に神經性及呼吸器系諸疾患に對し適應せる種類を用ゆれば其効最も顯著なり
▲試に說明書を見られよ本劑の成分作用並に效用を明かにす

發賣元
大阪道修町二丁目
東京本町四丁目
藤澤友吉商店

皮膚を白く柔くする

美乳クリーム

定價 三十五錢

近代科學の生める眞の最新美容料たる本品を必ずお試し遊ばせ！其の美容効果は絕對に他に比類なしと學者も推奬常用者も滿足！

何故に美乳クリームは？
▲昇の第一品として評判が宜いのでせう乎それは日本に初めて出來た美乳の東れた美白素を基礎とし更に秘法を加味してあるからで皮膚を白く柔くし且脂肪を含みませぬから白粉下としても完全無二

發賣本舖 東京 平尾賛平商店(?)

全北虎疫下火 全州地方の虎疫は下火となれり（光州）
東京株式特電
大阪期米特電
神戸期米特電

みだれ咲き

第百七十一回　島山碧波作　森田久畫

二階堂老伯は、自分の經驗に就いた松川を冷やかに眺め。

『山中家の大事な子供を貴樣如き惡人達に渡さうものなら、今度は海外行の醜業婦にでも賣つてしまふだらう、さァ文句を云ふこゝは無いからサッサと歸りなさい』

松川は老伯の權幕に氣を呑まれて眼を白黑させて居たが。

『御前、夫は些かお言葉が過ぎませう、不肖ながら私も山中子爵家の執事を勤めて居りますさうして主人の代理で伺ひましたのに惡人とは餘りにお言葉が過ぎは致しませんか』

と虚勢を張る松川はヂリ〱と膝を進めた。

『惡人じやから惡人と云つたのに夫がどうしたのだ、貴樣だつて人間の皮を被つたからには良心があるだらう、俺に聽くよりも其の良心に問へ』

老伯の言葉は益々鋭くなつて隣室に居る一同には手に執るやうに聽えた。

『さう致しますと私ではお孃樣や若樣をお渡し下さらないのでございますな』

大きく首肯いた老伯は。

『さうじや、貴樣如き奴に大事な孫が渡せるか、假りに貴樣と俺との地位を代へて居たらどうじや、貴樣はハイ〱と云つて二人の孫を渡すか』

グッと返辭に詰つた松川は眼を白黑させるのみであつた。

『勘一、貴樣は山中家から來たなぞと云ふが實は左樣であるまい、子爵山中欣也は幾ら性根が腐つても、夫れ程の白痴にはならん筈じや、是れは他に何か深い考へのある奴が貴樣を使に寄越したのに違ひ無い』

老伯は探りの槍を入れて見た、必ず山宮の命令で松川が訪れたものと看破して夫れと無く氣を引いて見た。

『ク……決してそんな事は御座いません』

打ち消す松川は非常に慌て居た。

『さう痛くな、二階堂友春は鷹揚をして居ると思ふじやらうが、何も彼も知つて居るのじや。強ひて二人の孫を連れ歸り度いなら、山中子爵が自身で出て來なさい、是れが二人とも早稲田の邸より直接に俺の處へ來たのなら迎へなぞを受ける前に俺の方から送り届けてやるが、二人の孫は決して左樣云ふ實際な道を踏んで俺の處へ來て居るのでは無いから、俺が歸さぬと云ふのを不都合と思ふなら、警察へ届けたら宜からう、さうしたら俺は善惡邪正を訊した上で、二人の孫を山中家へ歸してやるから早く戻つて二人の孫を欲しい奴に左樣傳へろ』

『……』

松川執事は一句半句の辯解も出來無いで頭を垂れて居たが。

『御前、先刻から伺つて居りますと、御前樣は確に何か誤解をなさつて居らつしやるやうですが、御存知の通り主人は病中でありまして頻りにお孃樣や若樣に逢ひたがつて居らつしやるのですから其の邊のところを御諒察下さいまし（？）』

『尊いわ、だから逢ひ度いなら自身で來いと云ふのだ、左も無くば警察力で連れて行けと云ふのだ、二階堂は決して二人の子供を隱して居るのでは無い、逢ひ度いなら逢はしても遣るが此處へ呼ばぬのは俺の情じや、判つたらサッサと歸れッ』

松川は雨の腋下に流れる汗を拭はうともせず。

『さうまで仰せになりますなら戻りまして、一應主人にお言葉を傳へませう』

底氣味惡ひ思ひをして起ちかゝつた松川は、挨拶もソコ〱にして伯爵邸を辭した、が、隣室に居る一同は手を拍つて伯が松川を飜弄するのを笑つた。

懸賞川柳（九）　劍花坊先生選

美人

虞美人を捨てゝ項羽勝つこゝろ　京城　耕哉

痩せましたねと美人の手を握り

よく叱る主人美人へあんな顏　京城　風來坊

虚榮だけ旅だと美しい妻の評　京城　一錢

ふり向かせても向かず柳腰　京城　大要

怪美人取るだけ取ると居なくなり　京城　富士雄

絞首臺美人殺しの兇がつき　元山　喜庵坊

美しいのから減つてくる溜山

贈答タオル浴衣一手販賣　卸商　京城若草町四〇　上月商店　電話一〇三五番　振替京城五三三一番

京日紙上俳句會　＝出句發表＝

▲蜻蛉▲

六四四 陽に向いて飛び行く朝の蜻蛉かな
六四五 蜻蛉の翅に赤き入陽かな
六四六 宵が空さ夕陶を飛べる赤蜻蛉
六四七 背戸の灯に影の早さや夕蜻蛉
六四八 夕燒の空に蜻蛉の遲速かな
六四九 太陽や蜻蛉の頭洽く光美
六五〇 釣竿に蜻蛉の影の去來かな
六五一 赤蜻蛉雨後の日强き埋立地
六五二 蜻蛉や叱られて教室に一人
六五三 姑蘇城外に落つる夕日や赤蜻蛉
六五四 蜻蛉やベースボールの人だかり
六五五 鳴子引けばパッと散り行く蜻蛉哉
六五六 鍋つけし川に尻つく蜻蛉哉
六五七 啼る丶日を草ぞ枯る丶蜻蛉哉
六五八 蜻蛉や廢れて高き六臣
六五九 朝鮮に入りし一歩や飛ぶ蜻蛉
六六〇 キラ〱と今生れたる蜻蛉哉
六六一 蛟が見る各務が原飛行機飛ぶ蜻蛉を
六六二 蜻蛉釣る後から來利堅犬か
六六三 醍經の暫時錫杖に蜻蛉哉
六六四 教員の指す鞭先に蜻蛉哉
六六五 千敎般の裾婦る風に蜻蛉去る
六六六 壁と生れし入道兒や蜻蛉追ふ
六六七 夕陽赤き滿洲の曠野や飛ぶ蜻蛉
六六八 蜻蛉や流石に肥馬の乘心地
六六九 屋根に干す赤き辛子と舞ふ蜻蛉
六七〇 蜻蛉やとりつきかれた草の上に
六七一 陽炎に羽やく蜻蛉萩笑ふ
六七二 夕風に池に波紋の蜻蛉かな
六七三 プロペラの音なく見ゆる蜻蛉哉
六七四 水澄れば穗麥にぎはふ蜻蛉哉
六七五 砂盛る兒に蜻蛉流るゝ哉
六七六 自動車の上を蜻蛉は鳴かれども
六七七 馬鹽にはいつも蜻蛉が來てとまり
六七八 蜻蛉釣る獲物少なや太陽は落ちて
六七九 廢室の壁の破れや蜻蛉釣る
六八〇 砂踏むもかしこき庭や赤蜻蛉
六八一 赤蜻蛉貧乏寺の小庭哉
六八二 飛行機のやうな心か大蜻蛉
六八三 蜻蛉や巳が釣らるゝ竿の先
六八四 深山森樹々の香に飛ぶ蜻蛉哉
六八五 蓉藻燒く浦や茶色を飛ぶ蜻蛉
六八六 蜻蛉晴れ草木に謳歌しけり
六八七 山蜻蛉非底に石を投げにけり
六八八 蜻蛉交ゐ行商の荷を卸した
六八九 夕陽に背け抱く兒よ飛ぶ蜻蛉
六九〇 蜻蛉追ひたしなみ亂しはつかしさ
六九一 さしかにゝあはれ一つの蜻蛉哉
六九二 工夫等が歸る峠や赤蜻蛉
六九三 蜻蛉や踏切小屋の秋深し
六九四 道それて草つむ子等や赤蜻蛉
六九五 透日入る殘る碧さや蜻蛉の眼
六九六 一つ飛ぶ蜻蛉の影や海暮し
六九七 蜘蛛の巣に掛る蜻蛉を放ちけり
六九八 蜻蛉や東に西に秋津洲
六九九 何の寶玉に比べて良きか蜻蛉の眼
七〇〇 麗ら陽ヤオパルに似たる蜻蛉の眼
七〇一 蜻蛉の何思ひけんふいと立つ
七〇二 帆柱の蜻蛉共に舩船迅し
七〇三 馬車過ぎて蜻蛉去來す雨後の畷
七〇四 酒肆ともす牛市果てゝ夕蜻蛉
七〇五 物の先に皆蜻蛉あり日蔭哉
七〇六 出水跡の石ころ道や岩蜻蛉
七〇七 蜻蛉に校庭廣し日曜日
七〇八 蜻蛉や疫病もなく村おだやか
七〇九 海の陽によろこび飛べる蜻蛉哉
七一〇 蜻蛉や日向葵の實にうすづく日
七一一 史村多き城跡も寂びて蜻蛉さぶ
七一二 秋の野に風のまゝなる蜻蛉哉
七一三 馬一つ圍む蜻蛉や禪の庭
七一四 麥を播く竿に蜻蛉の一荷哉
七一五 新道や滿作の晴れ蜻蛉飛ぶ
七一六 桃山や御陵の晴れを飛ぶ蜻蛉
七一七 風少し草に蜻蛉のひるみ哉
七一八 陽に立てば蜻蛉來るなり丘の上
七一九 釣竿に蜻蛉とまるや眞晝中
七二〇 レールにはとまりかねたる蜻蛉哉
七二一 たちこちに子供の聲や蜻蛉つり
七二二 吹く風に向うて飛ぶや赤蜻蛉
七二三 約束をして歸りける蜻蛉つり
七二四 蜻蛉つり水たせがむ聲さかな
七二五 飛ぶ蜻蛉洋人住める花壇かな
七二六 夕日赫きホテルや飛ぶ蜻蛉
七二七 滑燈の押沈めたる蜻蛉かな
七二八 なはて道人に先立つ蜻蛉かな
七二九 かきおちや二尾一體に行蜻蛉
七三〇 夕暮れに味噌藏のぞく蜻蛉哉
七三一 上下の隊に別れし蜻蛉かな
七三二 一つ拂ふ一つ一雙や蜻蛉飛ぶ
七三三 詳掘る小川の杭に蜻蛉かな
七三四 蜻蛉や船を休めし竿の先
七三五 釣人の閑なる竿や赤蜻蛉
七三六 蜻蛉や空澄み渡る大八洲
七三七 水に尻冷す蜻蛉や夕日和
七三八 高う飛び又低う飛ぶ赤蜻蛉
七三九 五大洲の頭にとまる蜻蛉かな
七四〇 庭石に蜻蛉の暫き止まりかな
七四一 辻堂に子持ちて食や飛ぶ蜻蛉
七四二 川越して群るゝ蜻蛉や里近し
七四三 鐘の音や森より高く飛ぶ蜻蛉
七四四 赤蜻蛉臥牛の角を抱きけり
七四五 浪花香る磯山や赤蜻蛉
七四六 蜻蛉高飛ぶ夕されば湖も大風に
七四七 西日さす乾し草の上や蜻蛉澄む
七四八 蜻蛉釣り凱歌奏でて歸りけり
七四九 明日の空占ひにけり夕蜻蛉
七五〇 蜻蛉去り秋風立ちて蟲の聲
七五一 蜻蛉かな秋風吹きて庭のかご
七五二 蜻蛉舞ふ空や一萬二千峰
七五三 蜻蛉や露路踏みゆく旅姿人
七五四 蜻蛉や破垣にさまれ夕日さす
七五五 蜻蛉や小川の岸を高う飛ぶ
七五六 蜻蛉や汐にゆらるゝ浮の先
七五七 蜻蛉や花も實もなき枝の先
七五八 牛追の男飛び越す蜻蛉哉
七五九 萩燃ねて蜻蛉幾百飛びにけり
七六〇 聯穣の塗堆大に蜻蛉かな
七六一 惑悲深き母ありながら蜻蛉つり
七六二 刈り急ぐ齋田廣し赤蜻蛉
七六三 の皺の子孫が蜻蛉釣り
七六四 鍬を噛む溝の上飛ぶ蜻蛉哉
七六五 雨晴るゝ幼稚園に來て飛ぶ赤蜻蛉
七六六 出て見れば風もなき蜻蛉哉

新刊紹介

▲婦人之友（生活改造號）目下社會の注意を惹きつゝある生活改造問題について種種の參考となるべき意見議論實驗を滿載せり熟讀に値す（一冊三十錢）▲大陸（七の一〇）滿洲に關する有益多趣味なる記事を滿載す（三十錢、大連談路町一八共社）▲國技（八の九）相撲專門の雜誌にて角力好きの人は是非とも一讀を要すべきもの（二十五錢、東京本所横綱一の一七相撲通信社）

▲俳諧大觀（四）木版手刷りの頗ぶる凝りた彩色繪六葉あり（一圓二十錢、京都市寺町通夷川上る山本文華堂出版部）

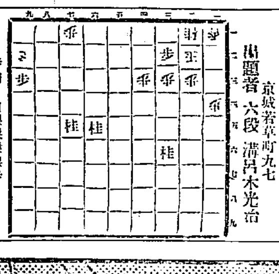
京城本町貳丁目　詩座の前
カフエーキリンの
西洋料理とすき燒

讀者の領分

▲『東都の友へ』を投稿された旅山英男氏へ、彼の樣な種類のものは平常は載せる餘白がありませんから其内何かの機會に掲載することに致します（係）▲赤坂の人に御答致します先づ原因たる貴下の胃腸病を治すべきです、局部へは次ぎの藥劑を試みて御覽なされ、亞鉛華二、チオノール二、ワセリン二〇、右を練和して軟膏と致し就寢のさき塗布し朝起きて拭き除きます最も効の有るのは自然療法と云ふ奴で有ります劇藥でありますから醫師の治療を受けられるが良いでせう▲長橋町から黄金町に出る電車道路は或る事情で修理の受持で行きますでいつも子供や老人自轉車の衝突が有ります今度商品陳列館前迄の道路も擴張した事で當局は當分の上で橋町より出た所に停留所を一ヶ所設く希望す（心配生）▲大都會の衛生よ此頃はホンに充分でも御注意するこそ水道係に禁告するぞ（注意生）▲京城町○○商店の店員さん今少し○○西に近ふこと主人より御注意を願ひますぞ、今の内に注意したまへ（近所生）▲仁川の秋季運動會が廢止されると聞きますが是れは誠に惜しい事で御座ります何處の國にかあの樣な馬鹿げた運動會の見物が御座いまいよ（仁川佳民）▲年は十八歳にて子供衆のない御家庭で上女中として御行儀ごともにお針も少し致します故お世話下さる御內主樣がありましたらお知らせ下さいませ（親族の者）▲早稲田大學五大講義（第一號）早稲田大學にては戰後の社會に活動せんと欲する者の爲めに政治經濟法律科、文學科、中學科、商業科の各科講義録に大刷新を加へ此の十月より新學年を開始せしが愈々各科共第一號出で新入學の申込未曾有のレコードを示せりと

懸賞詰將棋（第二回）

出題者　六段　溝呂木光治　京城若草町九七



持駒　角銀銀銀步

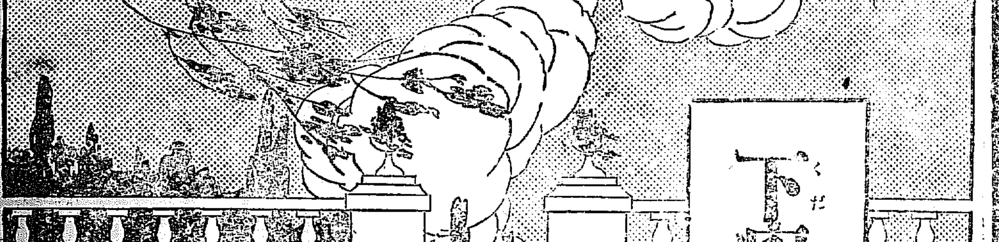
募集規定

賞品　本社代理部購買券價格壹圓（壹名）

入賞者（但正解者多數の時は抽籤の事）

締切　十月二十五日

注意　京城日報社將棋係宛投稿の事



下痢症には……ホシ下痢止

其後の攝生には

胃病良藥

ホシ胃腸藥

定價　壹圓　五十錢　二十錢

各地特約藥店にて販賣す

毎日缺かさず食後〱に召し上れ！

ホシ胃腸藥は規模の宏大設備の完全なること東洋第一なる星製藥株式會社の工場に於て醫學者及藥學者の合理的研究に成り、嚴密精確に調劑せらるゝが故に効能最も的確なり

東京京橋南傳馬町

星製藥株式會社

消化と毒けし

コレラも

＝金言＝

三度同じ石に躓くは恥辱なり（西諺）

もう一ト息と云ふ今が至極大切……

此際＝殺菌力・健胃力兼備の

仁丹・毎日欠かさず召上れ

大阪商船出帆

（仁川出帆）

×信濃川丸　十月十五日正午出帆

×安東丸　十月十四日正午出帆

八櫻城丸　十月十二日正午出帆

（元山出帆）

浦潮行　安平丸　十月十一日後九時出帆

安山丸　門司、宇品、神戸、大阪行　十月十八日後十時

（大連出帆）

上海、基隆、打狗行　湖北丸　十一月五日前十時出帆

基隆丸　十月廿三日前四時出帆

內地各港に寄港

歐洲行　一年四回

北米行　一年四回

南米行　每月一回

濠洲行　每月一回

大阪商船株式會社　仁川支店

盛になると　にせが　出來るヨ

全國の都市に支店あり

大邱三町停車場前

仁川宮町二丁目

元山本町三丁目

平壌橋町十二番地

金山大廳町三丁目

龍山陸兵營前

大連岩代町

開城南本町

有田ドラッグ

京城黃金町三丁目

にせ物あり　有田

分析料　百圓

藥效確實

りん病

ばい毒